

# 摂南大学学則（案）

昭和50年1月10日

学園106

## 第1章 総則

### （目的）

第1条 摂南大学(以下「本大学」という)は、時代と地域の要請に基づき、深く専門の学術とその応用を教授研究するとともに、全人の育成を第一義として、人間力・実践力・統合力を養い、自らが課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人を育成し、もって社会の発展と学術・文化の向上をはかることを目的とする。

## 第2章 組織

### （学部、学科および教育研究上の目的）

第2条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。

学部	学科
理工学部	生命科学科 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
外国語学部	外国語学科
経営学部	経営学科 経営情報学科
薬学部	薬学科
法学部	法律学科
経済学部	経済学科
看護学部	看護学科
農学部	農業生産学科 応用生物科学科 食品栄養学科 食農ビジネス学科

- 2 理工学部生命科学科は、バイオに関する高度な知識と技術を持ち、生命機構の真理の追究により、人が健康で安全な生活を営むための医療や食品や環境に関する分野で活躍する基礎研究者および研究開発従事者を養成することを目的とする。さらに、創薬科学、医療科学、環境衛生科学などの分野を教育研究することで、人の健康および自然環境との共生を実現するための実践的な技術を身につけた人材を養成することを目的とする。
- 3 理工学部住環境デザイン学科は、住宅や身の回りの生活を取り巻く多様なデザイン領域に関する知識と技術を修得し、地球環境を含めた広範な人間の住環境に存在する様々な問題点を的確に捉える能力を養う。さらに、これらの問題点の解決方法を提案するためのデザイン感性と実践的技術を修得し、持続可能な生活環境と倫理観を持って創造することができる技術者やデザイナーとなる人材を養成することを目的とする。
- 4 理工学部建築学科は、地球環境を含めた広範な人間の生活環境に対する的確な問題意識を持ち、生活基盤となる建築・都市空間の安全性、機能的性、審美性の追求と、社会や環境への適切な配慮のできる包括的な知識と技能、さらには倫理観を持った建築設計および建築生産などにかかわる技術者を養成することを目的とする。
- 5 理工学部機械工学科は、人類、社会が直面する課題の解決に寄与する機械の研究開発やものづくりの基礎となる機械工学の専門知識を修得し、問題を発見し解決するための総合的な能力を身につけた実践的機械技術者を養成することを目的とする。
- 6 理工学部電気電子工学科は、電気電子工学と情報通信工学の幅広い技術をバランスよく修得するとともに、社会全体に対する役割を自覚し、製品開発や設計施工などの現場において課題を発見し解決できる力を持つ実践的な電気系技術者および情報通信関連技術者を養成することを目的とする。
- 7 理工学部都市環境工学科は、複雑化・高機能化した都市環境を建設・維持管理・リニューアルするハード面の技術と環境に配慮した都市計画を立案するソフト面の技術を修得し、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる専門職業人を養成することを目的とする。
- 8 外国語学部外国語学科は、外国語と日本語によるコミュニケーション能力および異文化と日本の文化に対する理解を涵養し、人間力・実践力・統合力を身につけた、異文化接触の現場で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 9 経営学部経営学科は、企業を中心とする組織一般の運営に関する基礎的な理論と知識を身につけるとともに、幅広い教養をあわせ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 10 経営学部経営情報学科は、企業経営に関する情報の収集、分析、活用のための知識と技能を身につけるとともに、幅広い教養をあわせ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 11 薬学部薬学科は、高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の進化、健康・福祉の増進、生活環境の保全に貢献する薬剤師を養成することを目的とする。
- 12 法学部法律学科は、幅広い教養と法学・政治学・法政策学に関わる専門的知識に裏打ちされ、論理的に問題解決ができる能力を有し、主体的に社会貢献をなしうる人間力を持った人材を養成することを目

的とする。

- 13 経済学部経済学科は、経済学を基礎として幅広い見識と豊かな人間性を有し、現代の経済社会の諸問題に積極的に取り組むことのできる知的・専門的経済人を養成することを目的とする。
- 14 看護学部看護学科は、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理観、心豊かな人間性と看護実践能力を備えた人材を育成し、地域社会における保健・医療・福祉の向上、看護の発展に貢献できる看護職者を養成することを目的とする。
- 15 農学部農業生産学科は、生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 16 農学部応用生物科学科は、生物・生命の諸現象と、その背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成することを目的とする。
- 17 農学部食品栄養学科は、農学の学びを基盤として、食のプロセス（農産物の生産から加工・流通・消費まで）を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 18 農学部食農ビジネス学科は、農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成することを目的とする。

(別科)

第2条の2 本大学に留学生別科を置く。

2 留学生別科については、留学生別科規定に定める。

(収容定員)

第3条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
理工学部	生命科学科	90名	5名	370名
	住環境デザイン学科	70名	5名	290名
	建築学科	70名	5名	290名
	機械工学科	110名	5名	450名
	電気電子工学科	90名	5名	370名
	都市環境工学科	70名	5名	290名
	計	500名	30名	2,060名
外国語学部	外国語学科	220名	5名	890名

経営学部	経営学科	170名	4名	688名
	経営情報学科	100名	4名	408名
	計	270名	8名	1,096名
薬学部	薬学科	220名	—	1,320名
法学部	法律学科	250名	5名	1,010名
経済学部	経済学科	250名	4名	1,008名
看護学部	看護学科	100名	—	400名
農学部	農業生産学科	80名	—	320名
	応用生物科学科	80名	—	320名
	食品栄養学科	80名	—	320名
	食農ビジネス学科	100名	—	400名
	計	340名	—	1,360名

#### (職員)

第4条 本大学に、学長、副学長、学部長、教務部長、学生部長、学長室長、教授、准教授、講師、助教、助手および研究職員ならびに事務職員を置く。

2 本大学には、前項のほか、図書館長、情報メディアセンター長、入試部長、就職部長、研究支援・社会連携センター長、国際交流センター長、学科長、教室主任その他必要な職員を置く。

#### (各職員の職務)

第5条 学長は、本大学の学務を統括し、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての企画および各学部間の連絡調整を行う。

3 学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部にも所属する職員を指揮監督する。

4 教務部長および学生部長は、学長を補佐し、その命を受けて部内の業務を掌理するとともに、各学部間の調整を行う。

5 学長室長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の管理運営業務の遂行にあたる。

6 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

7 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

8 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。

9 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

- 10 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 11 研究職員は、教授、准教授、講師および助教の職務を補助し、または指導を受け研究に従事する。
- 12 事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。
- 13 その他職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(部長会議)

第6条 本大学に、部長会議を置く。

- 2 部長会議は、学長、副学長、学部長、教務部長、学生部長、学長室長、図書館長、情報メディアセンター長、入試部長および就職部長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。
- 3 その他部長会議について必要な事項は、部長会議規定に定める。

(教授会)

第7条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長および当該学部の教授をもって組織し、学長がつぎに掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
  - イ 学生の入学および卒業に関すること
  - ロ 学位の授与に関すること
  - ハ 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要と学長が定めるもの
- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長が掌る教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 4 その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。

(委員会)

第8条 本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

- イ 評価委員会
- ロ 教員選考委員会
- ハ 入試委員会
- ニ 教務委員会
- ホ FD委員会
- ヘ 学生委員会
- ト 図書館運営委員会
- チ 就職委員会
- リ 情報メディアセンター運営委員会
- ヌ 人権侵害防止委員会
- ル 個人情報保護委員会

ヲ 教員活動評価委員会

ワ 国際交流委員会

- 2 評価委員会は、自己点検・評価および第三者評価に必要な教育研究目標の設定、教育研究活動の改善、将来計画の策定その他重要な事項を審議する。
- 3 教員選考委員会は、教員の採用および昇任の資格審査ならびに研修に関する事項を審議する。
- 4 入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整、合否判定その他重要な事項を審議する。
- 5 教務委員会は、学長の諮問に応じて教務に関する重要な事項の審議および教務に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 6 FD委員会は、学長の諮問に応じて本大学の授業内容と授業方法の改善に関する事項を審議する。
- 7 学生委員会は、学長の諮問に応じて学生の厚生補導、表彰、懲戒その他重要な事項の審議およびそれらに関する各学部間の連絡調整を行う。
- 8 図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。
- 9 就職委員会は、学長の諮問に応じて就職に関する重要な事項の審議および就職に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 10 情報メディアセンター運営委員会は、学長の諮問に応じて情報メディアセンターの運営に関し必要な事項を審議する。
- 11 人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
- 12 個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。
- 13 教員活動評価委員会は、本大学における教員活動評価に関する事項を審議する。
- 14 国際交流委員会は、国際交流に必要な事項を審議する。
- 15 その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

(教育方法改善のための組織的な研修等)

第8条の2 本大学は、授業の内容および方法の改善を図るため、組織的な研修および研究を行う。

### 第3章 学年、学期および休業日

(学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を2期に分ち、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までとする。ただし、学長は、前期・後期の授業日数を調整するため、前期の終期および後期の始期を変更することができる。

(休業日)

第11条 授業を行わない日(以下「休業日」という)は、つぎのとおりとする。

イ 日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日

ロ 本学園創立記念日(10月30日)

ハ 春期休業日 3月25日から4月4日まで

ニ 夏期休業日 8月1日から9月18日まで

ホ 冬期休業日 12月23日から翌年1月7日まで

2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定め、または休業日に授業を行うことができる。

第4章 修業年限および在学年限

(修業年限)

第12条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。

理工学部 4年

外国語学部 4年

経営学部 4年

薬学部 6年

法学部 4年

経済学部 4年

看護学部 4年

農学部 4年

(在学年限)

第13条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。

理工学部 8年

外国語学部 8年

経営学部 8年

薬学部 12年

法学部 8年

経済学部 8年

看護学部 8年

農学部 8年

2 前項にかかわらず、第19条および第20条の規定により入学、転学部または転学科を許可された者の在学年限については、教授会の議を経て、相当な年限を学部長が定める。

## 第5章 入学

### (入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、学長は、学年の途中においても、第10条に定める学期の区分に従い、入学させることができる。

### (入学資格)

第15条 本大学に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当するものとする。

イ 高等学校または中等教育学校を卒業した者

ロ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む)

ハ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

ニ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ホ 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ヘ 文部科学大臣の指定した者

ト 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

チ 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

### (入学志願手続)

第16条 本大学への入学を志願する者は、指定の期日までに、所定の出願書類に第40条に定める入学検定料を添えて学長に願い出なければならない。

### (入学者の選考)

第17条 入学志願者の選考は、教授会の議を経て、学長が行う。

### (入学手続および入学許可)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに、学費納入規定に定める学費を納入し、かつ、所定の書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ入学の宣誓をするものとする。



(編入学、転入学および再入学)

第19条 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に編入学を許可することがある。

- イ 大学を卒業した者
- ロ 大学における2年以上の課程を履修して退学した者
- ハ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ニ 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
- ホ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者
- ヘ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者
- ト 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

2 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に転入学を許可することがある。

- イ 本大学以外の大学に入学し、履修歴のある者
- ロ 外国の大学に入学し、履修歴のある者

3 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に再入学を許可することがある。

- イ 本大学を卒業した者
- ロ 本大学を退学した者
- ハ 第37条イ号、ロ号またはホ号により除籍になった者

4 その他編入学、転入学および再入学については、編入学規定、転入学規定、再入学規定にそれぞれ定める。

(転学部または転学科)

第20条 本大学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部もしくは転学科を希望する者は、所属学部長の承認を得て、志願することができる。

2 転学部または転学科は、志願先の教授会の議を経て学部長が選考し、学長が相当年次に転学部または転学科を許可する。

(入学者の既修得単位等の取扱い)

第21条 第18条の規定により、入学を許可された者が入学以前に他の大学または短期大学等において修得した単位は、学部長が教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

2 前項により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、第26条により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数と合わせて60単位を限度とする。

- 3 第19条および前条の規定により、入学または転学部、転学科を許可された者の本大学または他の大学もしくは短期大学等においてすでに履修した授業科目および修得した単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学部長が定める。

## 第6章 教育課程、教職課程および履修方法等

### (授業科目)

第22条 本大学の学部および学科の教育研究上の目的を達成するために必要な授業科目を置く。

- 2 授業科目は、専門科目、基礎科目、教養科目およびキャリア形成科目とし、これを必修科目、選択必修科目および選択科目に区分する。
- 3 前項の区分により、開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。
- 4 第2項のほか、自由科目を置くものとし、各学部の履修規定に定める。

### (副専攻)

第22条の2 特定の課題に関する科目で構成する教育課程(副専攻)を開設し、その学習成果を認定することができる。なお、副専攻の教育課程、履修方法および認定要件については、別に定める。

### (単位の計算方法)

第23条 授業科目の単位の計算基準は、つぎのとおりとする。

- イ 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ロ 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項にかかわらず、講義および演習と実験、実習、実技を組み合わせる授業科目については、その組み合わせに応じて、15時間から45時間の範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 3 「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合、これに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

### (単位の授与)

第24条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、設計製図、演習、実験、実習および実技については、試験によらないことがある。

### (成績の評価基準等)

第25条 授業科目の成績は、その授業の方法、内容および年間の計画ならびに成績評価の基準をあらかじめ学生に明示し、当該基準にしたがって行うものとする。

- 2 前項のほか、授業科目の成績については、各学部の履修規定に定める。

(他大学等における授業科目の履修等)

第26条 教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、当該他大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。
- 3 本大学の学部間または学科間の協議に基づき、学部長は、他の学部または他の学科の授業科目を履修させることができる。
- 4 前3項の規定により修得した単位については、教授会の議に基づき、学部長は60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(履修の方法および要件等)

第27条 履修の方法および要件等については、各学部の履修規定に定める。

(教職課程)

第28条 教育職員免許状の取得を希望する者のために、教育職員免許法および同法施行規則に基づく教職課程を置く。

- 2 前項により開設する授業科目および単位数は、別表第2のとおり定める。
- 3 本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第2の2のとおりとする。
- 4 前項の免許状を取得するための授業科目の履修方法および修得すべき単位等必要な事項は、各学部の履修規定に定める。

## 第7章 卒業および学位

(卒業)

第29条 本大学に第12条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

理工学部 124単位以上

外国語学部 124単位以上

経営学部 124単位以上

薬学部 187単位以上

法学部 124単位以上

経済学部 124単位以上

看護学部 128単位以上

農学部 124単位以上

- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

(学位の授与)

第30条 本大学を卒業した者に対して、つぎの区分に従って学士の学位を授与する。

学部	学科	学位
理工学部	生命科学科	学士(理学)
	住環境デザイン学科	学士(工学)
	建築学科	
	機械工学科	
	電気電子工学科	
	都市環境工学科	
外国語学部	外国語学科	学士(文学)
経営学部	経営学科	学士(経営学)
	経営情報学科	
薬学部	薬学科	学士(薬学)
法学部	法律学科	学士(法学)
経済学部	経済学科	学士(経済学)
看護学部	看護学科	学士(看護学)
農学部	農業生産学科	学士(農学)
	応用生物科学科	
	食品栄養学科	
	食農ビジネス学科	

2 前項のほか、学位について必要な事項は、学位規定に定める。

第8章 休学、転学、留学、退学および除籍

(休学)

第31条 病気その他やむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができない者は、休学することができる。

- 2 休学は、所属学部長が許可する。
- 3 病気その他修学することが適当でない認められる者については、所属学部長は休学を命じることができる。

(休学期間)

第32条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して3年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第13条の在学期間に算入しない。

(復学)

第33条 休学期間が満了し、または休学の理由が消滅したときは、復学することができる。

2 復学は、所属学部長が許可する。

(転学)

第34条 他の大学へ入学または転入学を志願しようとする者は、所属学部長に転学願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第35条 外国の大学で学修することを志願する者は、学部長の許可を得て留学することができる。

2 学部長は、教育上有益と認められる場合に限り、教授会の議を経て留学を許可する。

3 前項の許可を得て留学した期間は、第13条に定める在学期間を含めることができる。

4 第26条第4項にかかわらず、外国の大学へ留学する場合、卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、30単位を限度とする。

(退学)

第36条 退学しようとする者は、所属学部長に保証人連署の退学願と学生証を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第37条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

イ 学費を所定の期日までに納入しない者

ロ 休学者または学生海外留学規定による留学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者

ハ 第13条に定める在学年限を超えた者

ニ 成業の見込みがないと認められる者

ホ 休学者で休学期間満了前までに、所属学部長に復学を願い出ない者

ヘ 他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者

ト 薬学部、看護学部の学生で、同一年次の上位年次配当授業科目の履修要件を休学期間を除く2年間で充足せず、かつ成業の見込みがないと認められる者

チ 死亡が確認された者

## 第9章 賞罰

(表彰)

第38条 成績の特に優秀な学生または表彰に価する行為があった学生は、学生委員会の議を経て、学長が表彰する。

(懲戒)

第39条 本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は学生委員会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、放学、停学、譴責および訓告とする。
- 3 前項の放学は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行い、再入学は許可しない。
  - イ 性行不良で改善の見込みがない者
  - ロ 正当な理由がなくて出席常でない者
  - ハ 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限に算入しない。

第10章 入学検定料および学費等

(入学検定料)

第40条 入学検定料の額は、手数料収納に関する内規に定める。

(学費等)

- 第41条 学費は、入学金、授業料および教育充実費とし、その額は、別表第3のとおり定める。
- 2 休学中の学費は、休学開始日の属する期の翌期から免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。
  - 3 学生海外留学規定に定める留学を許可された場合の留学中の学費は、学費納入規定の定めるところにより免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。
  - 4 その他休学中および留学中の学費等の取扱いについては、学費納入規定に定める。

(既納の入学検定料および学費等)

第42条 既に納入された入学検定料、学費および在籍料は、返戻しない。ただし、学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(納期、納入方法等)

第43条 学費および在籍料の納期、納入方法等について必要な事項は、学費納入規定に定める。

第11章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生

(研究生)

- 第44条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者がいるときは、選考のうえ研究生として入学を許可することがある。
- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

- 3 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。
- 4 研究料の額は、別表第4のとおり定める。
- 5 その他研究生については、研究生規定に定める。

(科目等履修生)

第45条 本大学において、特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生を志願できる者は、高等学校を卒業した者またはそれと同等以上の学歴を有する者とする。
- 3 授業科目を履修し、合格した者には所定の単位を与える。
- 4 履修料の額は、別表第5のとおり定める。
- 5 その他科目等履修生については、科目等履修生規定に定める。

(特別聴講学生)

第46条 他の大学、短期大学または高等専門学校で、本大学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他校との協議に基づき、特別聴講学生としてこれを許可することができる。

- 2 出願資格、履修料等その他必要な事項については、特別聴講学生規定に定める。

(外国人留学生)

第47条 外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の議を経て、外国人留学生としてこれを許可することができる。

- 2 外国人留学生は、留学目的により第1種外国人留学生、第2種外国人留学生および第3種外国人留学生とし、つぎのとおりとする。

イ 第1種外国人留学生とは、大学の課程を修了して学士の学位を取得することを目的とし、1年次または相当年次に入学する者

ロ 第2種外国人留学生とは、特定の研究課題の研究を目的とする者

ハ 第3種外国人留学生とは、特定の授業科目を聴講することを目的とする者

- 3 外国人留学生の出願資格は、つぎのとおりとする。

イ 第1種外国人留学生は、外国において学校教育における12年以上の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

ロ 第2種外国人留学生は、外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

ハ 第3種外国人留学生は、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者

- 4 本条の規定は、外国人が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(帰国学生)

第48条 帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の議を経て、帰国学生としてこれを許可することができる。

2 帰国生徒の出願資格は、日本国籍を有し、外国における高等学校に原則として2年以上継続して在学し、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3 本条の規定は、帰国生徒が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(外国人留学生および帰国学生に関する授業科目の開設)

第49条 外国人留学生および帰国学生に関しては、日本語および日本事情等の授業科目を開設することができる。

(その他)

第50条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生について必要な事項は、別に定める。

## 第12章 公開講座

(公開講座)

第51条 社会人の教養・知識を高め、文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設する。

2 公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

## 第13章 付属施設

(図書館)

第52条 本大学に、図書館を設け、本大学の職員および学生の研究に資する。

(情報メディアセンター)

第52条の2 本大学に、情報メディアセンターを設け、本大学の職員および学生の教育研究に資する。

(研究支援・社会連携センター)

第52条の3 本大学に、研究支援・社会連携センターを設け、本大学の産官学連携および地域連携の推進に資する。

(保健室)

第53条 本大学に、保健室を設け、本大学の職員および学生の保健衛生に資する。

(福利厚生施設)

第54条 本学園に、福利厚生施設を設け、本大学の職員および学生の福利厚生に資する。



## 第14章 その他

### (学則の改廃)

第55条 本学則の改廃は、部長会議および教授会の意見を聴き、学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長がこれを行う。

### 付 則

- 1 本学則施行に必要な細則は、別に定める。
- 2 本学則は、昭和50年4月1日から施行する。
- 3 この改正学則は、昭和50年9月9日から施行する。ただし、別表第3は、昭和51年度入学生から適用する。
- 4 この改正学則は、昭和52年4月1日から施行する。
- 5 イ この改正学則は、昭和54年4月1日から施行する。ただし、別表第3は、昭和54年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和53年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
  - ハ 改正後の第3条の規定にかかわらず、各学科の収容定員は、昭和54年度230名、昭和55年度260名、昭和56年度290名とする。
- 6 イ この改正学則は、昭和55年4月1日から施行する。ただし、第44条第1項の改正後の別表第3は、昭和55年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和54年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 7 イ この改正学則は、昭和56年4月1日から施行する。ただし、第44条第1項の改正後の別表第3は、昭和56年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和55年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 8 イ この改正学則は、昭和57年4月1日から施行する。ただし、第41条第1項の改正後の別表第4は、昭和57年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和56年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 9 イ この改正学則は、昭和58年4月1日から施行する。ただし、改正後の第40条の別表第3は、昭和58年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項の別表第4は、昭和58年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和57年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 10 イ この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、

昭和59年度入学生の入学手続時から適用する。

ロ 昭和58年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。

11 イ この改正学則は、昭和60年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和60年度入学生の入学手続時から適用する。

ロ 昭和59年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。

12 イ この改正学則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、改正後の第40条の別表第3は、昭和61年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項の別表第4は、昭和61年度入学生の入学手続時から適用する。

ロ 昭和60年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。

ハ 第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	
土木工学科	100名
建築学科	100名
電気工学科	110名
機械工学科	110名
経営工学科	110名
計	530名
国際言語文化学部	
国際言語文化学科	200名
経営情報学部	
経営情報学科	200名
薬学部	
衛生薬学科	120名
薬学科	60名
計	180名

13 イ この改正学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和62年度入学生の入学手続時から適用する。

ロ 昭和61年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。ただし、薬学部の授業科目および単位数については、昭和60年度以降の入学生は前号を適用し、昭和59年度以前の入学生は昭和63年度まで原則としてなお従前の例による。

14 イ この改正学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、

昭和63年度入学生の入学手続時から適用する。

- ロ 昭和62年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。ただし、薬学部の授業科目および単位数については、昭和60年度以降の入学生は、前号を適用し、昭和59年度以前の入学生は、昭和63年度まで原則としてなお従前の例によるものとし、経営情報学部の昭和62年度以前の入学生の修得すべき授業科目および単位数については、前号を適用する。
- ハ 第3条の規定にかかわらず、昭和63年度から昭和74年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	
土木工学科	100名
建築学科	100名
電気工学科	110名
機械工学科	110名
経営工学科	110名
計	530名
国際言語文化学部	
国際言語文化学科	200名
経営情報学部	
経営情報学科	200名
薬学部	
衛生薬学科	120名
薬学科	60名
計	180名
法学部	
法律学科	170名

- 15 イ この改正学則は、1989年4月1日から施行する。ただし 改正後の第41条第1項および第2項の別表第4は、1989年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 1988年度以前の入学生の学費ならびに工学部学生の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 16 イ この改正学則は、1990年4月1日から施行する。
- ロ 改正後の第40条の別表第3は、1990年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1990年度入学生の入学手続時から適用する。
- ハ 1989年度以前の入学生の学費については、なお従前の例による。ただし、学費のうち施設費および設備費については、従前の金額に消費税法第29条に定める消費税額を加算するものとする。
- ニ 1989年度以前の入学生にかかる教職課程ならびに工学部学生の修得すべき授業科目および単位

数については、なお従前の例による。

- 17 イ この改正学則は、1991年4月1日から施行する。
- ロ 改正後の第40条の別表第3は、1991年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1991年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1990年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。ただし、1989年度以前の入学者の学費のうち施設費および設備費については、従前の金額に消費税法第29条に定める消費税額を加算するものとする。
- ニ 1990年度以前の入学者にかかる経営情報学部学生の修得すべき単位数については、なお従前の例による。
- ホ 第3条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	
土木工学科	110名
建築学科	110名
電気工学科	120名
機械工学科	120名
経営工学科	120名
計	580名
国際言語文化学部	
国際言語文化学科	250名
経営情報学部	
経営情報学科	200名
薬学部	
衛生薬学科	120名
薬学科	60名
計	180名
法学部	
法律学科	220名

- 18 イ この改正学則は、1992年4月1日から施行する。
- ロ 第29条および第30条は、1992年2月26日から適用する。
- ハ 第40条の別表第3は、1992年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1992年度入学者の入学手続時から適用する。
- ニ 1991年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。ただし、学費のうち施設費および設備費については、従前の金額から消費税法第29条に定める消費税額を差し引いた額とし、消費税法の一部を改正する法律（平成3年5月15日法律第73号）の施行日から適用する。

ホ 第3条の規定にかかわらず、1992年度から2002年度までの間の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員						
	1992年度	1993年度	1994年度	1995～1999年度	2000年度	2001年度	2002年度
工学部							
土木工学科	420名	430名	440名	440名	410名	380名	350名
建築学科	420名	430名	440名	440名	410名	380名	350名
電気工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
機械工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
経営工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
計	2220名	2270名	2320名	2320名	2140名	1960名	1780名
国際言語文化学部							
国際言語文化学科	900名	950名	1000名	1000名	950名	900名	850名
経営情報学部							
経営情報学科	950名	1100名	1250名	1400名	1250名	1100名	950名
薬学部							
衛生薬学科	480名	480名	480名	480名	480名	480名	480名
薬学科	240名	240名	240名	240名	240名	240名	240名
計	720名	720名	720名	720名	720名	720名	720名
法学部							
法律学科	780名	830名	880名	880名	830名	780名	730名

19 イ この改正学則は、1993年4月1日から施行する。

ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1993年度入学者の入学手続時から適用する。

ハ 1992年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

ニ 1992年度以前の入学者にかかる修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。

ホ 第3条の規定にかかわらず、1993年度から2002年度までの間の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員						
	1993年度	1994年度	1995年度	1996～1999年度	2000年度	2001年度	2002年度
工学部							
土木工学科	430名	440名	440名	440名	410名	380名	350名
建築学科	430名	440名	440名	440名	410名	380名	350名
電気工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
機械工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名

経営工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
計	2270名	2320名	2320名	2320名	2140名	1960名	1780名
国際言語文化学部							
国際言語文化学科	950名	1000名	1000名	1000名	950名	900名	850名
経営情報学部							
経営情報学科	1000名	1050名	1100名	1000名	900名	800名	700名
経営環境情報学科	150名	300名	450名	600名	550名	500名	450名
計	1150名	1350名	1550名	1600名	1450名	1300名	1150名
薬学部							
衛生薬学科	480名	480名	480名	480名	480名	480名	480名
薬学科	240名	240名	240名	240名	240名	240名	240名
計	720名	720名	720名	720名	720名	720名	720名
法学部							
法律学科	830名	880名	880名	880名	830名	780名	730名

- 20 イ この改正学則は、1994年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1994年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1993年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- 21 イ この改正学則は、1995年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1995年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1994年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 1992年度以前の入学者（工学部および国際言語文化学部にあつては1994年度以前の入学者）にかかる修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。ただし、1992年度以前の薬学部の入学者が「薬物治療学」を専門教育科目の選択科目として履修し、単位を修得することができるものとする。
- 22 イ この改正学則は、1996年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1996年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1995年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
- a 工学部の1994年度以前の入学者（電気工学科および経営工学科にあつては、1992年度以前の入学者）については、なお従前の例による。
- b 国際言語文化学部の1994年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- c 経営情報学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- d 薬学部の1993年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- e 法学部の1995年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 23 イ この改正学則は、1997年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1997年度入学者の入学手続時から適用する。

- ハ 1996年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
- a 工学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
  - b 国際言語文化学部の1996年度以前の入学者については、なお従前の例による。
  - c 薬学部の1996年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「海外英語研修」については、履修し、単位を修得できるものとする。
  - d 法学部の1995年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「海外英語研修」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
- 24 イ この改正学則は、1998年4月1日から施行する。
- ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
- a 工学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
  - b 国際言語文化学部、経営情報学部および法学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「教養特別講義Ⅰ～Ⅴ」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
  - c 薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「人文総合A」および「人文総合B」については、履修し、単位を修得できるものとする。なお、「教養特別講義Ⅰ～Ⅴ」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
- 25 この改正学則は、1999年4月1日から施行する。
- 26 イ この改正学則は、2000年4月1日から施行する。
- ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
- a 工学部の1999年度以前の入学者の卒業に必要な単位数および第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。ただし、土木工学科の卒業に必要な単位数のうち専門科目については、必修科目34単位、選択必修科目および選択科目のうちから46単位以上とする。
  - b 国際言語文化学部の1999年度以前の入学者については、なお従前の例による。
  - c 経営情報学部および薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。また、1999年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。
  - d 法学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- ハ 第3条の規定にかかわらず、2000年度から2004年度までの間の入学定員はつぎのとおりとする。

学部・学科	入 学 定 員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
工学部					
土木工学科	104名	98名	92名	86名	80名
建築学科	110名	110名	110名	110名	110名
電気工学科	112名	104名	96名	88名	80名
機械工学科	120名	120名	120名	120名	115名

経営工学科	112名	104名	96名	88名	80名
計	558名	536名	514名	492名	465名
国際言語文化学部					
国際言語文化学科	240名	230名	220名	210名	200名
経営情報学部					
経営情報学科	250名	250名	250名	250名	250名
経営環境情報学科	139名	128名	117名	106名	100名
計	389名	378名	367名	356名	350名
薬学部					
衛生薬学科	120名	120名	120名	120名	120名
薬学科	60名	60名	60名	60名	60名
計	180名	180名	180名	180名	180名
法学部					
法律学科	220名	220名	220名	220名	220名

- 27 イ この改正学則は、2001年4月1日から施行する。
- ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
- a 経営情報学部の1997年度以前の入学者の卒業に必要な単位数のうち基礎科目については、必修科目2単位、選択必修科目8単位以上とする。また、2000年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2および同条第3項別表第2の2の適用は、なお従前の例による。
- b 薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。また、1999年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。
- ハ 第3条の規定にかかわらず、2001年度から2004年度までの間の入学定員はつぎのとおりとする。

学部・学科	入 学 定 員			
	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
工学部				
土木工学科	80名	80名	80名	80名
建築学科	110名	97名	80名	80名
電気工学科	80名	80名	80名	80名
機械工学科	110名	100名	80名	80名
経営工学科	80名	80名	80名	80名
計	460名	437名	400名	400名
国際言語文化学部				
国際言語文化学科	220名	200名	200名	200名
経営情報学部				
経営情報学科	230名	230名	230名	230名



経営環境情報学科	120名	120名	120名	120名
計	350名	350名	350名	350名
薬学部				
衛生薬学科	120名	120名	120名	120名
薬学科	60名	60名	60名	60名
計	180名	180名	180名	180名
法学部				
法律学科	220名	220名	214名	171名

- 28 イ この改正学則は、2002年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部土木工学科、電気工学科および経営工学科は、2002年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、第22条第2項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「都市環境システム工学科」とあるのは「土木工学科」と、「電気電子工学科」とあるのは「電気工学科」と、「マネジメントシステム工学科」とあるのは「経営工学科」とそれぞれ読み替えるものとする。
- 29 イ この改正学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条別表第4は、2002年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 2001年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ハ 2001年度以前の入学者（工学部の入学者を除く）の修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
- ニ 工学部土木工学科および電気工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数ならびに教職課程については、工学部履修規定の定めるところによる。
- ホ 工学部建築学科および機械工学科の1999年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ヘ 工学部経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
- ト 第3条の規定にかかわらず、2002年度および2003年度の入学定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	入学定員	
	2002年度	2003年度
工学部		
都市環境システム工学科	80名	80名
建築学科	80名	80名
電気電子工学科	80名	80名
機械工学科	80名	80名
マネジメントシステム工学科	80名	80名
計	400名	400名

国際言語文化学部 国際言語文化学科	180名	180名
経営情報学部 経営情報学科 経営環境情報学科 計	196名 90名 286名	193名 80名 273名
薬学部 衛生薬学科 薬学科 計	120名 100名 220名	120名 100名 220名
法学部 法律学科	200名	170名

- 30 イ この改正学則は、2003年4月1日から施行する。ただし、改正後の第19条第3項は2003年度転入  
 学者の出願手続時から適用する。
- ロ 2002年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 2001年度以前の入学者（工学部土木工学科、電気工学科および経営工学科の入学者を除く）の  
 修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 工学部土木工学科および電気工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専科目および単位数  
 については、工学部履修規定の定めるところによる。
- ホ 工学部経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数については、な  
 お従前の例による。
- 31 イ この改正学則は、2004年4月1日から施行する。
- ロ 2003年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 工学部都市環境システム工学科、国際言語文化学部および法学部の2003年度以前の入学者の修  
 得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 工学部電気工学科、経営工学科、経営情報学部および薬学部の2001年度以前の入学者の修得す  
 べき授業科目および単位数については、なお従前の例による。ただし、2001年度の薬学部の入学  
 者は、「総合薬学演習」を履修し、単位を修得できるものとする。また、「卒業研究」を修得した  
 場合の単位数は、必修科目の4単位とする。
- 32 イ この改正学則は、2005年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、国際言語文化学部国際言語文化学科は、2005年3月31日に当該学部  
 学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合  
 において、第22条第2項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「外国語学部外国語学科」とある  
 のは「国際言語文化学部国際言語文化学科」と、第41条第1項別表第4、同条第2項別表第7、第44  
 条第4項別表第5および第45条第4項別表第6中「外国語学部」とあるのは「国際言語文化学部」と  
 それぞれ読み替えるものとする。

- ハ 2004年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
  - ニ 国際言語文化学部の2004年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
  - ホ 工学部都市環境システム工学科および法学部の2003年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 33 イ この改正学則は、2006年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項別表第4は、2006年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、経営情報学部経営環境情報学科および薬学部衛生薬学科は、2006年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例によるものとする。
  - ハ 2005年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
  - ニ 2005年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
  - ホ 経営情報学部経営情報学科および薬学部薬学科の2005年度以前の入学者については、なお従前の例による。
  - ヘ 工学部電気工学科および経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 34 イ この改正学則は、2006年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項別表第3は、2006年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 薬学部薬学科の2005年度以前の入学者については、なお従前の例による。
  - ハ 外国語学部、経営情報学部経営情報学科および法学部の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
  - ニ 工学部各学科の2005年度以前の入学者にの修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 35 この改正学則は、2007年4月1日から施行する。
- 36 イ この改正学則は、2007年4月1日から施行する。
- ロ 2006年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
  - ハ 経営情報学部経営情報学科および法学部の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
  - ニ 外国語学部の2006年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
  - ホ 工学部各学科の2006年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 37 この改正学則は、2008年4月1日から施行する。
- 38 イ この改正学則は、2008年4月1日から施行する。
- ロ 外国語学部の2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前

の例による。

ハ 工学部各学科の2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。

39 イ この改正学則は、2009年4月1日から施行する。

ロ 工学部各学科の2008年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。

40 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。

ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部都市環境システム工学科およびマネジメントシステム工学科は、2010年3月31日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例によるものとする。

ハ 第2条の規定にかかわらず、経営情報学部経営学科および経営情報学科は、2010年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、第22条第3項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「経営学部経営学科」とあるのは「経営情報学部経営学科」、「経営学部経営情報学科」とあるのは「経営情報学部経営情報学科」と、第41条第1項別表第3、同条第2項別表第6、第44条第4項別表第4および第45条第4項別表第5中「経営学部」とあるのは「経営情報学部」とそれぞれ読み替えるものとする。

ニ 工学部建築学科、機械工学科および電気電子工学科の2009年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

41 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。

ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部都市環境システム工学科、建築学科、電気電子工学科、機械工学科およびマネジメントシステム工学科は、2010年3月31日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例によるものとする。また、第41条第1項別表第3、同条第2項別表第6、第44条第4項別表第4および第45条第4項別表第5中「理工学部」とあるのは「工学部」とそれぞれ読み替えるものとする。

42 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。

ロ 2009年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。

ハ 外国語学部、経営情報学部および法学部の2009年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

43 イ この改正学則は、2011年4月1日から施行する。

ロ 2010年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

44 イ この改正学則は、2012年4月1日から施行する。

ロ 2011年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

- 45 イ この改正学則は、2013年4月1日から施行する。  
ロ 2012年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- 46 イ この改正学則は、2014年4月1日から施行する。  
ロ 2013年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 47 イ この改正学則は、2015年4月1日から施行する。  
ロ 2014年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 48 イ この改正学則は、2016年4月1日から施行する。  
ロ 2015年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 49 この改正学則は、2016年10月18日から施行する。
- 50 イ この改正学則は、2017年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条および別表第3は、2017年度入学者の入学手続時から適用する。  
ロ 2016年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。  
ハ 2016年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 51 イ この改正学則は、2018年4月1日から施行する。  
ロ 2017年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 52 この改正学則は、2020年4月1日から施行する。

別表第1 教育課程表

1 理工学部

イ 生命科学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	専門基礎群	生物学概論	②	
		物理学	②	
		物理化学	②	
		有機化学概論	②	
		生物無機化学	②	
		生物統計学	②	
		情報リテラシー	②	
	共通コア群	生命科学系	生命科学と倫理	②
			生化学Ⅰ	②
			生化学Ⅱ	②
			人体の構造と機能	②
			人体と病態	②
			実験動物学	2
			タンパク機能科学	2
			代謝生化学	2
			生命科学実験概論	2
			発生生物学	2
			生体利用機能学	2
			食品科学系	食品安全学
		食品微生物学		②
		食品生化学		2
		機能性食品科学		2
		食品分析学		2
		キャリア系	キャリア支援講座	2
			生命科学学外演習	2
		生物系専門コア群	分子生物系	生化学Ⅲ
	糖鎖工学			②
遺伝子工学	②			
ゲノムダイナミクス	2			
分子細胞制御学	2			

区分		授業科目	単位数		
専門科目	生物系 専門コア群	生物機能情報系	微生物学	②	
			酵素化学	②	
			構造生物学	②	
			機能情報生物学	②	
			細胞機能学	2	
			バイオテクノロジー	2	
		生体システム制御系	免疫学	②	
			薬理学	②	
			生化学検査学	2	
			脳科学	2	
			創薬科学	2	
		環境系 専門コア群	環境保全系	応用微生物学	②
				地球環境学	②
	環境土壌学			2	
	バイオエンジニアリング			2	
	環境科学系		公衆衛生学	②	
			環境毒性学	②	
			環境分析化学	2	
			バイオ環境工学	2	
	少人数 教育群		実験実習系	生物学基礎実習	①
				生化学実習	①
		分子生物学実習		①	
		分析化学実習		①	
		食品微生物学実習		①	
		遺伝子工学実習		①	
		生体物質解析実習		①	
		薬理学実習		①	
環境化学系実習		①			
物理学実験		①			
生命科学データベース論・演習		①			
ゼミ系		基礎演習Ⅰ	①		
		基礎演習Ⅱ	①		
		研究基礎演習	①		
	卒業研究	⑥			

区分		授業科目		単位数
教養科目	自分を 知る教 養群	人文系	古典文学から学ぶ	2
			近代文学から学ぶ	2
			日本語読解	2
			日本語表現	2
			人間力と心理	2
			心理と社会	2
			実践の思想	2
			哲学から学ぶ	2
			歴史に学ぶ	2
			健康論	2
		スポー ツ系	スポーツ科学実習 I	1
			スポーツ科学実習 II	1
			生涯スポーツ実習	1
		語学系	基礎英語 I a	1
			基礎英語 I b	1
			基礎英語 II a	1
			基礎英語 II b	1
			実践英語入門	1
			実践英語初級	1
			実践英語中級	1
			実践英語上級	1
			英語基礎会話a	1
			英語基礎会話b	1
海外語学研修	2			
教養科目	社会を 知る教 養群	社会科 学系	日本の政治	2
			現代と地理学	2
			法学入門	2
			日本国憲法	2
			マクロ経済学入門	2
			企業経営	2
			社会の仕組み	2
			マーケティング	2
			産業社会と知的財産	2
			国際理解概論	2



区分			授業科目	単位数	
教養科目	社会を知る教養群	地域志	地域と私	2	
		向系	北河内を知る	2	
			ソーシャル・イノベーション実務総論	2	
			摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2	
			摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2	
			地域貢献実践演習	2	
			キャリア	インターンシップⅠ	2
		アデザ イン系	インターンシップⅡ	2	
			コミュニケーションⅠ	2	
			コミュニケーションⅡ	2	
			教養特別講義Ⅰ	2	
			教養特別講義Ⅱ	2	
		語学系	教養特別講義Ⅲ	2	
			教養特別講義Ⅳ	2	
			教養特別講義Ⅴ	2	
			技術英語	2	
			科学英語	2	
		社会を知る教養群	科学技術系	産業技術史	2
				地学	2
				地学実験	2
				科学技術教養R1	2
	科学技術教養R2			2	
	科学技術教養A1			2	
	科学技術教養A2			2	
	科学技術教養M1			2	
	科学技術教養M2			2	
	科学技術教養E1			2	
科学技術教養E2	2				
科学技術教養C1	2				
科学技術教養C2	2				
科学技術教養T1	2				
科学技術教養T2	2				

区分		授業科目	単位数
教養科目	外国人留学生対象科目	日本事情F I	2
		日本事情F II	2
		日本語読解F I	1
		日本語読解F II	1
		日本語文法F I	1
		日本語文法F II	1
		日本語表現作文F I	1
		日本語表現作文F II	1
		日本語総合F I	1
		日本語総合F II	1
		専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	74単位	—	22単位以上	96単位以上
教養科目	—	—	28単位以上	28単位以上
計	74単位	—	50単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 住環境デザイン学科

区分		授業科目		単位数
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2
			微積分Ⅰ	4
			微積分Ⅱ	4
			線形代数Ⅰ	2
			線形代数Ⅱ	2
			工業数学Ⅰ	2
			工業数学Ⅱ	2
			代数学	2
			幾何学Ⅰ	2
			幾何学Ⅱ	2
			解析学	2
			統計学	2
			科学系	物理学基礎演習
		物理学		2
		基礎力学演習		2
		力学		2
		化学		2
		生物学		2
		実験系	理工学基礎実験	②
			物理学実験	2
	化学実験		2	
	情報系	情報リテラシーⅠ	②	
		情報リテラシーⅡ	②	
	専門コア群	共通系	住環境倫理	②
			建築法規	②
			住環境デザイン概論	②
			プロダクトデザイン論	2
図形科学			②	
居住安全計画			②	

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門コア群	環境デザイン系	都市環境計画	②
			住環境工学A	②
			住環境工学B	②
			住環境設備A	②
			住環境設備B	②
			住環境材料学	②
			構造デザイン論	②
			色彩デザイン論	②
			ランドスケープデザイン論	2
			構造力学Ⅰ	②
			構造力学Ⅱ	②
			建築一般構造学	②
			住宅生産学	②
		空間デザイン系	住生活学	②
			住環境管理学	②
			集合住宅管理学	②
			住居計画学	②
			建築計画学	②
			地域・都市計画学	②
			近代デザイン史	②
			日本建築史	②
			西洋建築史	②
			インテリアデザイン論	②
			建築空間論	②

区分			授業科目	単位数
専門科目	少人数教育群	演習系	空間表現演習A	2
			空間表現演習B	2
			造形演習	2
			基礎設計演習	2
			設計演習Ⅰ	2
			設計演習Ⅱ	2
			設計演習Ⅲ	2
			設計演習Ⅳ	2
			インテリアデザイン演習	2
			プロダクトデザイン演習	2
			環境工学演習	2
			環境計画演習	2
			構造デザイン演習	1
			空間情報演習	1
			住生活演習	1
		ゼミ系	ゼミA	1
			ゼミB	1
			ゼミC	1
			ゼミD	1
			卒業研究	6
教養科目	自分を 知る教 養群	人文系	古典文学から学ぶ	2
			近代文学から学ぶ	2
			日本語読解	2
			日本語表現	2
			人間力と心理	2
			心理と社会	2
			実践の思想	2
			哲学から学ぶ	2
			歴史に学ぶ	2
			健康論	2
	スポー ツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1	
		スポーツ科学実習Ⅱ	1	
		生涯スポーツ実習	1	

区分		授業科目	単位数
社会を知 る教養 群	語学系	基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語入門	1
		実践英語初級	1
		実践英語中級	1
		実践英語上級	1
		英語基礎会話a	1
		英語基礎会話b	1
		海外語学研修	2
	社会科 学系	日本の政治	2
		現代と地理学	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		マクロ経済学入門	2
		企業経営	2
		社会の仕組み	2
		マーケティング	2
産業社会と知的財産		2	
国際理解概論		2	
地域志 向系	地域と私	2	
	北河内を知る	2	
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2	
	摂南大学PBLプロジェクト I	2	
	摂南大学PBLプロジェクト II	2	
	地域貢献実践演習	2	

区分			授業科目	単位数
教養科目	社会を知る教養群	キャリアデザイン系	インターンシップ I	2
			インターンシップ II	2
			コミュニケーション I	2
			コミュニケーション II	2
			教養特別講義 I	2
			教養特別講義 II	2
			教養特別講義 III	2
			教養特別講義 IV	2
			教養特別講義 V	2
		語学系	技術英語	2
			科学英語	2
		科学技術系	産業技術史	2
			科学技術教養V1	2
			科学技術教養V2	2
			科学技術教養A1	2
			科学技術教養A2	2
			科学技術教養M1	2
			科学技術教養M2	2
			科学技術教養E1	2
			科学技術教養E2	2
			科学技術教養C1	2
			科学技術教養C2	2
			科学技術教養T1	2
科学技術教養T2	2			

区分		授業科目	単位数
教養科目	外国人留学生対象科目	日本事情F I	2
		日本事情F II	2
		日本語読解F I	1
		日本語読解F II	1
		日本語文法F I	1
		日本語文法F II	1
		日本語表現作文F I	1
		日本語表現作文F II	1
		日本語総合F I	1
		日本語総合F II	1
		専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	42単位	54単位以上		96単位以上
教養科目	—	—	28単位以上	28単位以上
計	42単位	82単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。



ハ 建築学科

区分		授業科目	単位数		
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2	
			微積分Ⅰ	4	
			微積分Ⅱ	4	
			線形代数Ⅰ	2	
			線形代数Ⅱ	2	
			工業数学Ⅰ	2	
			工業数学Ⅱ	2	
			代数学	2	
			幾何学Ⅰ	2	
			幾何学Ⅱ	2	
			解析学	2	
			統計学	2	
			科学系	物理学Ⅰ	2
				物理学Ⅱ	2
				基礎力学演習	1
				力学Ⅰ	2
				力学Ⅱ	2
			実験系	理工学基礎実験	②
				物理学実験	2
		情報系	情報リテラシーⅠ	①	
			情報リテラシーⅡ	①	
		専門コア群	共通系	図学Ⅰ	②
				図学Ⅱ	②
				建築法規	②
				建築倫理	②
				造形演習Ⅰ	1
				造形演習Ⅱ	1
			建築情報処理基礎	②	
			建築情報処理応用	②	
			測量	2	
		地球環境論	②		

区分			授業科目	単位数	
専門科 目	専門科 目	専門基 礎群	建築計画基礎	②	
			都市・地域計画	②	
			西洋建築史	②	
			建築計画各論	②	
			福祉すまい環境	②	
			建築環境工学Ⅰ	②	
			建築環境工学Ⅱ	②	
			建築設備学	②	
			日本建築史	②	
			近代建築史	②	
			建築環境工学Ⅲ	②	
			建築環境工学演習	②	
			材料デザイン	②	
			インテリア概論	②	
			空間表現論	②	
			建築企画	②	
			現代作品論	②	
			建築関連法規	②	
			緑地計画	2	
				構造・生	構造力学・構造基礎
			産系	構造力学Ⅰ	③
			専門コ	構造力学Ⅱ	③
			ア群	構造力学実践	②
				建築材料Ⅰ	②
				建築施工Ⅰ	②
				鉄筋コンクリート構造Ⅰ	②
				建築材料Ⅱ	②
				建築施工Ⅱ	②
				鉄筋コンクリート構造Ⅱ	②

区分		授業科目	単位数	
専門科目	専門科 目	構造・生産系	鋼構造Ⅰ	2
			鋼構造Ⅱ	2
		専門コア群	保存再生論	2
			構造力学Ⅲ	2
			地盤工学	2
			耐震工学	2
			構造実験	2
	少人数 教育群	実験実習系	設計演習Ⅰ	3
			設計演習Ⅱa	3
			設計演習Ⅱb	3
			設計演習Ⅲa	3
			設計演習Ⅲb	3
		ゼミ系	建築ゼミⅠ	1
			建築ゼミⅡ	1
		建築ゼミⅢ	1	
		卒業研究	6	
	教養科目	自分を 知る教 養群	人文系	古典文学から学ぶ
近代文学から学ぶ				2
日本語読解				2
日本語表現				2
人間力と心理				2
心理と社会				2
実践の思想				2
哲学から学ぶ				2
歴史に学ぶ				2
健康論				2
スポー ツ系		スポーツ科学実習Ⅰ	1	
		スポーツ科学実習Ⅱ	1	
		生涯スポーツ実習	1	

区分			授業科目	単位数
教養科目	自分を 知る教 養群	語学系	基礎英語 I a	1
			基礎英語 I b	1
			基礎英語 II a	1
			基礎英語 II b	1
			実践英語入門	1
			実践英語初級	1
			実践英語中級	1
			実践英語上級	1
			英語基礎会話a	1
			英語基礎会話b	1
			海外語学研修	2
	社会を 知る教 養群	社会科 学系	日本の政治	2
			現代と地理学	2
			法学入門	2
			日本国憲法	2
			マクロ経済学入門	2
			企業経営	2
			社会の仕組み	2
			マーケティング	2
			産業社会と知的財産	2
		国際理解概論	2	
		地域志 向系	地域と私	2
			北河内を知る	2
			ソーシャル・イノベーション実務総論	2
			摂南大学PBLプロジェクト I	2
			摂南大学PBLプロジェクト II	2
			地域貢献実践演習	2
		キャリ アデザ イン系	インターンシップ I	2
			インターンシップ II	2
コミュニケーション I	2			
コミュニケーション II	2			

区分			授業科目	単位数
教養科目	社会を知る教養群	キャリア	教養特別講義Ⅰ	2
		アデザ	教養特別講義Ⅱ	2
		イン系	教養特別講義Ⅲ	2
			教養特別講義Ⅳ	2
			教養特別講義Ⅴ	2
	語学系	技術英語	2	
		科学英語	2	
	科学技術系	産業技術史	2	
		科学技術教養V1	2	
		科学技術教養V2	2	
		科学技術教養R1	2	
		科学技術教養R2	2	
		科学技術教養M1	2	
		科学技術教養M2	2	
		科学技術教養E1	2	
		科学技術教養E2	2	
		科学技術教養C1	2	
		科学技術教養C2	2	
		科学技術教養T1	2	
		科学技術教養T2	2	
	外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2	
		日本事情FⅡ	2	
		日本語読解FⅠ	1	
		日本語読解FⅡ	1	
		日本語文法FⅠ	1	
		日本語文法FⅡ	1	
日本語表現作文FⅠ		1		
日本語表現作文FⅡ		1		
日本語総合FⅠ		1		
日本語総合FⅡ		1		
専門日本語FⅠ		1		
専門日本語FⅡ		1		
日本語会話FⅠ		1		
日本語会話FⅡ	1			

区分		授業科目	単位数
教養科目	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	61単位	35単位以上		96単位以上
教養科目	—	—	28単位以上	28単位以上
計	61単位	63単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

二 機械工学科

区分		授業科目	単位数		
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2	
			微積分Ⅰ	4	
			微積分Ⅱ	4	
			線形代数Ⅰ	2	
			線形代数Ⅱ	2	
			工業数学Ⅰ	2	
			工業数学Ⅱ	2	
			統計学	2	
			代数学	2	
			幾何学Ⅰ	2	
			幾何学Ⅱ	2	
			解析学	2	
			応用数学Ⅰ	2	
			応用数学Ⅱ	2	
			科学系	基礎力学演習	1
				力学Ⅰ	2
			力学Ⅱ	2	
			物理学Ⅰ	2	
			物理学Ⅱ	2	
		実験系	理工学基礎実験	①	
			物理学実験	①	
		情報系	情報リテラシーⅠ	①	
			情報リテラシーⅡ	①	
			VBプログラミング	①	
			Cプログラミング	①	
		専門コア群	共通系	機械力学Ⅰ	②
				機械力学Ⅱ	②
				機械力学演習	①
			制御工学Ⅰ	②	
			制御工学Ⅱ	2	
			流れ学Ⅰ	②	
			流れ学Ⅱ	②	
			流れ学演習	①	

区分			授業科目	単位数	
専門科目	専門コア群	共通系	流体力学	2	
			材料力学Ⅰ	②	
			材料力学Ⅱ	②	
			材料力学演習	①	
			固体力学	2	
			工業熱力学Ⅰ	②	
			工業熱力学Ⅱ	②	
			工業熱力学演習	①	
			機械製作	②	
			除去加工	②	
			成形加工	②	
			機械設計学Ⅰ	②	
			機械設計学Ⅱ	②	
			機械材料学Ⅰ	②	
			機械材料学Ⅱ	②	
			技術者倫理	②	
			環境機械系	エネルギー変換工学	2
				熱工学	2
			新素材	2	
		電子機械系	ロボット概論	2	
			計算機制御	2	
			センサ信号処理	2	
		インダストリアルデザイン系	インダストリアルデザイン概論	2	
			人間工学	2	
			機械と色彩	2	
			テクニカルデザイン演習	1	
		ものづくり機械系	ものづくりの工学	2	
			計算機援用設計	2	
			生産システム工学	2	
			機械工学演習	1	



区分			授業科目	単位数
専門科目	少人数教育群	実験実習系	機械工作実習Ⅰ	②
			機械工作実習Ⅱ	②
			機械工学実験Ⅰ	②
			機械工学実験Ⅱ	②
			機械製図Ⅰ	②
			機械製図Ⅱ	②
			機械設計Ⅰ	②
			機械設計Ⅱ	②
		ゼミ系	機械創成基礎演習Ⅰ	①
			機械創成基礎演習Ⅱ	①
			機械創成応用演習	①
			卒業研究	⑥
		教養科目	自分を 知る教 養群	人文系
近代文学から学ぶ	2			
日本語読解	2			
日本語表現	2			
人間力と心理	2			
心理と社会	2			
実践の思想	2			
哲学から学ぶ	2			
歴史に学ぶ	2			
健康論	2			
スポー ツ系	スポーツ科学実習Ⅰ			1
	スポーツ科学実習Ⅱ			1
	生涯スポーツ実習			1
語学系	基礎英語Ⅰa			1
	基礎英語Ⅰb			1
	基礎英語Ⅱa			1
	基礎英語Ⅱb			1
	実践英語入門			1
	実践英語初級			1
	実践英語中級			1

区分		授業科目	単位数	
教養科目	自分を 知る教 養群	語学系	実践英語上級	1
			英語基礎会話a	1
			英語基礎会話b	1
			海外語学研修	2
	社会を 知る教 養群	社会科 学系	日本の政治	2
			現代と地理学	2
			法学入門	2
			日本国憲法	2
			マクロ経済学入門	2
			企業経営	2
			社会の仕組み	2
			マーケティング	2
			産業社会と知的財産	2
			国際理解概論	2
		地域志 向系	地域と私	2
			北河内を知る	2
			ソーシャル・イノベーション実務総論	2
			摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
			摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
			地域貢献実践演習	2
		キャリ アデザ イン系	インターンシップⅠ	2
			インターンシップⅡ	2
			コミュニケーションⅠ	2
	コミュニケーションⅡ		2	
	教養特別講義Ⅰ		2	
	教養特別講義Ⅱ		2	
	教養特別講義Ⅲ		2	
教養特別講義Ⅳ	2			
教養特別講義Ⅴ	2			
語学系	技術英語	2		
	科学英語	2		

区分			授業科目	単位数	
教養科目	社会を知る教養群	科学技術系	産業技術史	2	
			科学技術教養V1	2	
			科学技術教養V2	2	
			科学技術教養R1	2	
			科学技術教養R2	2	
			科学技術教養A1	2	
			科学技術教養A2	2	
			科学技術教養E1	2	
			科学技術教養E2	2	
			科学技術教養C1	2	
			科学技術教養C2	2	
			科学技術教養T1	2	
			科学技術教養T2	2	
	外国人留学生対象科目			日本事情F I	2
				日本事情F II	2
				日本語読解F I	1
				日本語読解F II	1
				日本語文法F I	1
				日本語文法F II	1
				日本語表現作文F I	1
日本語表現作文F II				1	
日本語総合F I				1	
日本語総合F II				1	
専門日本語F I				1	
専門日本語F II				1	
日本語会話F I	1				
日本語会話F II	1				

区分		授業科目	単位数
教養科目	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	45単位	51単位以上		96単位以上
教養科目	—	—	28単位以上	28単位以上
計	45単位	79単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ホ 電気電子工学科

区分		授業科目	単位数		
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2	
			微積分Ⅰ	④	
			微積分Ⅱ	④	
			線形代数Ⅰ	②	
			線形代数Ⅱ	②	
			電気数学Ⅰ	②	
			電気数学Ⅱ	②	
			代数学	2	
			幾何学Ⅰ	2	
			幾何学Ⅱ	2	
			解析学	2	
			応用数学Ⅰ	2	
			応用数学Ⅱ	2	
			科学系	物理の基礎	3
			物理学Ⅰ	2	
			物理学Ⅱ	2	
			理工学基礎実験	①	
			物理学実験	2	
		情報系	情報リテラシーⅠ	1	
			情報リテラシーⅡ	1	
			Cプログラミング	1	
		専門コア群	共通系	電気電子工学概論	2
				フーリエ解析	2
			確率統計	2	
			電磁気学Ⅰ	②	
			電磁気学Ⅱ	②	
			電磁界理論	2	
			電気回路Ⅰ	②	
			電気回路Ⅱ	②	
			過渡現象	2	
			基礎電子回路	2	
		アナログ電子回路	2		
		デジタル電子回路	2		

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門コア群	共通系	電気工学基礎導入演習	①
			電気工学基礎演習	①
			電気工学演習	①
			電気電子計測	2
			品質管理	2
			電気回路CAD	2
			技術者への道	2
			技術者倫理	2
		電気設備系	電気機器Ⅰ	2
			電気機器Ⅱ	2
			電気エネルギー工学	2
			電力工学	2
			電力伝送	2
			電気設備工学	2
			パワーエレクトロニクス	2
			電機設計製図	2
			電気法規及び施設管理	2
			電子応用系	ロボット工学概論
		マルチメディア要素技術		2
		電子材料		2
		電子デバイス工学		2
		集積回路工学		2
		プラズマ工学		2
		制御工学基礎		2
		制御工学		2
		情報処理系	論理回路基礎	2
			論理回路	2
			デジタル信号処理	2
			コンピュータシステム	1
			コンピュータ解析	2
			マイクロコンピュータ	2

区分			授業科目	単位数	
専門科目	専門コア群	通信基礎系	情報理論	2	
			通信方式	2	
			通信伝送工学	2	
			光エレクトロニクス	2	
		通信設備系	通信工学 I	2	
			通信工学 II	2	
			データ通信	2	
			交換ネットワーク	2	
			電波法規	2	
			卒業研究	6	
	少人数教育群	演習実習系	電気工学創成演習	2	
			電気工学実験 I	2	
			電気工学実験 II	2	
			電気電子工学実験	3	
			情報通信工学実験	3	
		ゼミ系	電気工学基礎ゼミ	1	
			電気工学応用ゼミ	1	
			卒業研究	6	
	教養科目	自分を 知る教 養群	人文系	古典文学から学ぶ	2
				近代文学から学ぶ	2
日本語読解				2	
日本語表現				2	
人間力と心理				2	
心理と社会				2	
実践の思想				2	
哲学から学ぶ				2	
歴史に学ぶ				2	
健康論				2	
スポーツ系			スポーツ科学実習 I	1	
			スポーツ科学実習 II	1	
			生涯スポーツ実習	1	
			卒業研究	6	
語学系		基礎英語 I a	1		
		基礎英語 I b	1		
		基礎英語 II a	1		
		基礎英語 II b	1		

区分		授業科目	単位数			
教養科目	自分を 知る教 養群	語学系	実践英語入門	1		
			実践英語初級	1		
			実践英語中級	1		
			実践英語上級	1		
			英語基礎会話a	1		
			英語基礎会話b	1		
			海外語学研修	2		
	社会を 知る教 養群	社会科 学系		日本の政治	2	
				現代と地理学	2	
				法学入門	2	
				日本国憲法	2	
				マクロ経済学入門	2	
				企業経営	2	
				社会の仕組み	2	
				マーケティング	2	
				産業社会と知的財産	2	
			国際理解概論	2		
		地域志 向系		地域と私	2	
				北河内を知る	2	
				ソーシャル・イノベーション実務総論	2	
				摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2	
				摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2	
				地域貢献実践演習	2	
		キャリ アデザ イン系	語学系		インターンシップⅠ	2
					インターンシップⅡ	2
					コミュニケーションⅠ	2
				コミュニケーションⅡ	2	
				教養特別講義Ⅰ	2	
				教養特別講義Ⅱ	2	
	教養特別講義Ⅲ			2		
	教養特別講義Ⅳ			2		
	教養特別講義Ⅴ	2				
	技術英語	2				
	科学英語	2				



区分			授業科目	単位数	
教養科目	社会を知る教養群	科学技術系	産業技術史	2	
			科学技術教養V1	2	
			科学技術教養V2	2	
			科学技術教養R1	2	
			科学技術教養R2	2	
			科学技術教養A1	2	
			科学技術教養A2	2	
			科学技術教養M1	2	
			科学技術教養M2	2	
			科学技術教養C1	2	
			科学技術教養C2	2	
			科学技術教養T1	2	
			科学技術教養T2	2	
	外国人留学生対象科目			日本事情F I	2
				日本事情F II	2
				日本語読解F I	1
				日本語読解F II	1
				日本語文法F I	1
				日本語文法F II	1
				日本語表現作文F I	1
				日本語表現作文F II	1
				日本語総合F I	1
日本語総合F II				1	
			専門日本語F I	1	
			専門日本語F II	1	
			日本語会話F I	1	
			日本語会話F II	1	

区分		授業科目	単位数
教養科目	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	38単位	60単位以上		98単位以上
教養科目	—	—	26単位以上	26単位以上
計	38単位	86単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

へ 都市環境工学科

区分		授業科目	単位数		
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2	
			微積分Ⅰ	4	
			微積分Ⅱ	4	
			線形代数Ⅰ	2	
			線形代数Ⅱ	2	
			数理総合演習Ⅰ	1	
			数理総合演習Ⅱ	1	
			工業数学Ⅰ	2	
			工業数学Ⅱ	2	
			代数学	2	
			幾何学Ⅰ	2	
			幾何学Ⅱ	2	
			解析学	2	
			科学系	理工学基礎	①
			物理学	2	
			化学	2	
			生物学	2	
			地質学	2	
			基礎力学演習	1	
			力学Ⅰ	2	
			力学Ⅱ	2	
		実験系	理工学基礎実験	①	
			物理学実験	1	
			化学実験	1	
		情報系	情報リテラシーⅠ	①	
			情報リテラシーⅡ	1	
		専門コア群	建設系	構造力学基礎	②
				構造力学Ⅰ	2
				構造力学Ⅱ	2
				地盤力学Ⅰ	②
			地盤力学Ⅱ	2	

区分		授業科目	単位数	
専門科目	専門コア群	建設系	建設構造材料学	②
			水理学Ⅰ	②
			水理学Ⅱ	②
		環境計画系	自然・都市環境論	②
			地球環境学	②
			環境衛生工学Ⅰ	②
			環境衛生工学Ⅱ	②
			リサイクル工学	②
			計画システム	②
			都市計画学	②
			環境地盤工学	②
		専門応用系	鋼構造学	②
			コンクリート構造学	②
			建設施工学	②
			交通・道路工学	②
			流域・沿岸域工学	②
			構造物メンテナンス	②
			防災・耐震工学	②
			コンストラクションマネジメント入門	②
			シビックデザイン	②
		倫理法規系	技術者倫理	②
			建設環境法規	②
		建築系	建築・都市計画入門	2
			建築設計製図基礎	1
			建築設計製図Ⅰ	1
			建築設計製図Ⅱ	1
			建築設計製図Ⅲ	1
		測量・実験系	測量学Ⅰ	②
			測量学実習Ⅰ	①
			測量学Ⅱ	②
	測量学実習Ⅱ	①		
	建設工学実験	②		
	環境工学実験	②		

区分			授業科目	単位数	
専門科目	専門コア群	専門情報系	空間情報学	②	
			CAD実習	①	
	少人数教育群	専門演習系	構造力学基礎演習	①	
			構造力学Ⅰ演習	①	
			コンクリート構造学演習	①	
			地盤力学Ⅰ演習	①	
			地盤力学Ⅱ演習	①	
			水理学Ⅰ演習	①	
			水理学Ⅱ演習	①	
			計画システム演習	①	
			総合演習系	実践日本語演習	①
				都市環境基礎演習	①
				都市環境総合演習Ⅰ	①
				都市環境総合演習Ⅱ	①
				都市建設設計製図	①
	環境計画設計製図	①			
	ゼミ系	都市環境基礎ゼミⅠ	①		
		都市環境基礎ゼミⅡ	①		
		都市環境ゼミナール	①		
		卒業研究	⑥		
教養科目	自分を 知る教 養群	人文系	古典文学から学ぶ	2	
			近代文学から学ぶ	2	
			日本語読解	2	
			日本語表現	2	
			人間力と心理	2	
			心理と社会	2	
			実践の思想	2	
			哲学から学ぶ	2	
			歴史に学ぶ	2	
			健康論	2	
	スポー ツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1		
		スポーツ科学実習Ⅱ	1		
		生涯スポーツ実習	1		

区分			授業科目	単位数
教養科目	自分を 知る教 養群	語学系	基礎英語 I a	1
			基礎英語 I b	1
			基礎英語 II a	1
			基礎英語 II b	1
			実践英語入門	1
			実践英語初級	1
			実践英語中級	1
			実践英語上級	1
			英語基礎会話a	1
			英語基礎会話b	1
	海外語学研修	2		
	社会を 知る教 養群	社会科 学系	日本の政治	2
			現代と地理学	2
			法学入門	2
			日本国憲法	2
			マクロ経済学入門	2
			企業経営	2
			社会の仕組み	2
			マーケティング	2
			産業社会と知的財産	2
国際理解概論			2	
地域志 向系	地域志 向系	地域と私	2	
		北河内を知る	2	
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2	
		摂南大学PBLプロジェクト I	2	
		摂南大学PBLプロジェクト II	2	
		地域貢献実践演習	2	
キャリ アデザ イン系	キャリ アデザ イン系	インターンシップ I	2	
		インターンシップ II	2	
		コミュニケーション I	2	
		コミュニケーション II	2	

区分			授業科目	単位数
教養科目	社会を知る教養群	キャリア	教養特別講義Ⅰ	2
		アデザ	教養特別講義Ⅱ	2
		イン系	教養特別講義Ⅲ	2
			教養特別講義Ⅳ	2
			教養特別講義Ⅴ	2
	語学系	技術英語	2	
		科学英語	2	
	科学技術系	産業技術史	2	
		科学技術教養V1	2	
		科学技術教養V2	2	
		科学技術教養R1	2	
		科学技術教養R2	2	
		科学技術教養A1	2	
		科学技術教養A2	2	
		科学技術教養M1	2	
		科学技術教養M2	2	
		科学技術教養E1	2	
		科学技術教養E2	2	
		科学技術教養T1	2	
		科学技術教養T2	2	
		外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ		2	
	日本語読解FⅠ		1	
	日本語読解FⅡ		1	
	日本語文法FⅠ		1	
	日本語文法FⅡ		1	
日本語表現作文FⅠ	1			
日本語表現作文FⅡ	1			
日本語総合FⅠ	1			
日本語総合FⅡ	1			
専門日本語FⅠ	1			
専門日本語FⅡ	1			
日本語会話FⅠ	1			
日本語会話FⅡ	1			

区分	授業科目	単位数
帰国学生対象科目	日本事情R I	2
	日本事情R II	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	26単位	72単位以上		98単位以上
教養科目	—	—	26単位以上	26単位以上
計	26単位	98単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。



2 外国語学部

外国語学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	英語プロフェッショナルコース・国際キャリアコース (英語専攻)	○ ボキャブラリー&文法a	1	
		○ ボキャブラリー&文法b	1	
		○ スピーキング&ライティング I a	1	
		○ スピーキング&ライティング I b	1	
		○ リーディング I a	1	
		○ リーディング I b	1	
		○ スキルズトレーニングa	1	
		○ スキルズトレーニングb	1	
		ドラマ	1	
		プレゼンテーション	1	
		トピックスタディーズ I a	1	
		トピックスタディーズ I b	1	
		英語プロフェッショナルコース	※ Integrated Skills Training	1
			※ Practical English Conversation	1
	※ Academic Reading		1	
	※ Academic Writing		1	
	Global Issues		1	
	English for TOEFL		1	
	※ English for Global Communication a		1	
	※ English for Global Communication b		1	
	※ Comprehensive English a		1	
	※ Comprehensive English b		1	
	※ English Writing Workshop a		1	
	※ English Writing Workshop b		1	
	※ English Lecture I a		2	
	※ English Lecture I b	2		
	English Lecture II a	2		
English Lecture II b	2			
Debate & Presentation a	1			
Debate & Presentation b	1			

区分			授業科目	単位数
専門科目	英語プロフェッショナルコース 国際キャリアコース (英語専攻)	専攻言語科目 (英語)	Oral Communication a	2
			Oral Communication b	2
			Advanced English a	2
			Advanced English b	2
			◎ スピーキング&ライティングⅡa	1
			◎ スピーキング&ライティングⅡb	1
			◎ リーディングⅡa	1
			◎ リーディングⅡb	1
			◎ メディアイングリッシュa	1
			◎ メディアイングリッシュb	1
			◎ ESP(English for Specific Purposes)a	1
			◎ ESP(English for Specific Purposes)b	1
			トピックスタディーズⅡa	1
			トピックスタディーズⅡb	1
	◎ スピーキング&ライティングⅢa	1		
	◎ スピーキング&ライティングⅢb	1		
	◎ リーディングⅢa	1		
	◎ リーディングⅢb	1		
	カレントイングリッシュa	1		
	カレントイングリッシュb	1		
	ビジネスイングリッシュa	1		
	ビジネスイングリッシュb	1		
	国際キャリアコース (中国語専攻)	専攻言語科目 (中国語)	○ 中国語を聞くⅠa	1
			○ 中国語を聞くⅠb	1
			○ 中国語を読むⅠa	1
			○ 中国語を読むⅠb	1
			○ 中国語を書くⅠa	1
○ 中国語を書くⅠb			1	
○ 中国語を話すⅠa			1	
○ 中国語を話すⅠb			1	
○ ビジネス中国語a			1	
○ ビジネス中国語b			1	
映像中国語a			1	
映像中国語b			1	

区分		授業科目	単位数	
専門科目	国際キャリアコース(中国語専攻)	○ 中国語を聞くⅡa	1	
		○ 中国語を聞くⅡb	1	
		○ 中国語を読むⅡa	1	
		○ 中国語を読むⅡb	1	
		○ 中国語を書くⅡa	1	
		○ 中国語を書くⅡb	1	
		○ 中国語を話すⅡa	1	
		○ 中国語を話すⅡb	1	
		メディア中国語a	1	
		メディア中国語b	1	
		観光中国語a	1	
		観光中国語b	1	
		貿易中国語a	1	
		貿易中国語b	1	
		○ 中国語プレゼンテーションa	1	
		○ 中国語プレゼンテーションb	1	
		中国語コミュニケーションa	1	
		中国語コミュニケーションb	1	
		国際キャリアコース(スペイン語専攻)	○ スペイン語入門A	1
			○ スペイン語入門B	1
			○ スペイン語入門C	1
			○ スペイン語基礎A	1
			○ スペイン語基礎B	1
○ スペイン語基礎C	1			
○ スペイン語オラルⅠ	1			
○ スペイン語オラルⅡ	1			
○ スペイン語応用Ⅰ	1			
○ スペイン語応用Ⅱ	1			
○ スペイン語総合A	1			
○ スペイン語総合B	1			
スペイン語トピックス	1			
映画のスペイン語Ⅰ	1			
○ スペイン語オラルⅢ	1			
○ スペイン語オラルⅣ	1			

区分		授業科目	単位数	
専門科目	国際キャリアコース(スペイン語専攻)	専攻言語科目	○ スペイン語文章構成Ⅰ	1
			○ スペイン語文章構成Ⅱ	1
			○ メディアのスペイン語Ⅰ	1
			○ メディアのスペイン語Ⅱ	1
			○ スペイン語オラルⅤ	1
			スペイン語オラルⅥ	1
			○ スペイン語文章構成Ⅲ	1
			スペイン語文章構成Ⅳ	1
			スペイン語通訳Ⅰ	1
			スペイン語通訳Ⅱ	1
			映画のスペイン語Ⅱ	1
			メディアのスペイン語Ⅲ	1
			スペイン語プレゼンテーションⅠ	1
			スペイン語プレゼンテーションⅡ	1
	国際キャリアコース(インドネシア・マレー語専攻)	専攻言語科目	○ インドネシア語入門a(1)	1
			○ インドネシア語入門a(2)	1
		(インドネシア)	○ インドネシア語入門b(1)	1
			○ インドネシア語入門b(2)	1
		(マレー語)	○ インドネシア語コミュニケーションⅠa	1
			○ インドネシア語コミュニケーションⅠb	1
			インドネシア語ボキャブラリーa	1
			インドネシア語ボキャブラリーb	1
			インドネシア語表現法	1
初級検定インドネシア語			1	
○ 総合インドネシア語a(1)			1	
○ 総合インドネシア語a(2)			1	
○ 総合インドネシア語b(1)			1	
○ 総合インドネシア語b(2)			1	
○ インドネシア語コミュニケーションⅡa			1	
○ インドネシア語コミュニケーションⅡb			1	
旅行インドネシア語			1	
○ 基礎マレー語a			1	
○ 基礎マレー語b			1	
中級検定インドネシア語	1			

区分		授業科目	単位数	
専門科目	国際キャリアコース(インドネシア・マレー語専攻)	○ 実践インドネシア・マレー語a	1	
		○ 実践インドネシア・マレー語b	1	
		○ インドネシア語コミュニケーションⅢa	1	
		○ インドネシア語コミュニケーションⅢb	1	
		○ 時事インドネシア・マレー語	1	
		ビジネスインドネシア語	1	
		上級検定インドネシア語	1	
		○ プレゼンテーションインドネシア・マレー語	1	
		スペシャリストインドネシア・マレー語	1	
		インドネシア・マレー語学研究	1	
	文化・社会科目	世界を知る	英語圏概論	2
			中国語圏概論	2
			スペイン語圏概論	2
			インドネシア・マレー語圏概論	2
			エリアスタディーズ(日本)	2
			エリアスタディーズ(東アジア)	2
			エリアスタディーズ(東南アジア)	2
			エリアスタディーズ(ヨーロッパ)	2
			エリアスタディーズ(アフリカ)	2
			エリアスタディーズ(北アメリカ)	2
エリアスタディーズ(ラテンアメリカ)	2			
エリアスタディーズ(オセアニア)	2			
言語のしくみ	言語のしくみ	音声学	2	
		英語学概論	2	
		言語学	2	
		日本語史概説	2	
		英語意味論・語用論	2	
		日本語音韻論	2	
		英語構造論	2	
		日本語語彙論	2	
		中国語文字論	2	
		日本語文法論	2	
中国語語彙論	2			

区分			授業科目	単位数	
専門科目	文化・社会科目	世界の歴史	日本史学	2	
			中国史学	2	
			ヨーロッパ史学	2	
			日米文化交流史	2	
			東南アジア史学	2	
			社会文化史	2	
		世界の文化と多様性	風土と地理	2	
			日本文学	2	
			異文化接触論	2	
			日米比較文化	2	
			中国文学	2	
			芸能文化論	2	
			英米文学	2	
			神話論	2	
		現代の社会	現代社会論	2	
			国際社会論	2	
			哲学と倫理	2	
			現代学術論	2	
		特別資格科目	学芸員科目	ミュージアムへの招待	2
				ミュージアムコレクション論	2
				博物館資料保存論	2
	ディスプレイ論			2	
	生涯学習論			2	
	ミュージアムマネジメント論			2	
	博物館情報・メディア論			2	
	博物館教育論			2	
	博物館実習			3	
	日本語教員科目		日本語教授法Ⅰ	2	
			日本語教授法Ⅱ	2	
			日本語教授法Ⅲ	2	
			日本語教育実習演習	3	
			パッケージプログラム科目	異文化ビジネス論	2
		ビジネス心理学	2		
	グローバル経済論	2			

	区分	授業科目	単位数
専門科目	パッケージプログラム科目	地域と国際ビジネス	2
		グローバルマーケティング論	2
		グローバル企業研究	2
		ビジネスコミュニケーション論	2
		国際協力論	2
		国際関係論	2
		ボランティア論	2
		国際平和論	2
		国際機構論	2
		社会開発論	2
		ことばと意味	2
		異文化コミュニケーション論	2
		翻訳文化論	2
		日本語表現論	2
		語学教育工学	2
		外国語翻訳法	2
		外国語通訳法	2
		ホスピタリティ論	2
		ホテルビジネス論	2
		エアラインビジネス論	2
		エコツーリズム論	2
		イベント企画論	2
		アーバンツーリズム論	2
		メディア文化論	2
		マスコミ論	2
		メディアリテラシー論	2
		クリエイティブビジネス論	2
		ビジュアルデザイン論	2
		地域環境論	2
		暮らしの中の文化	2

区分		授業科目	単位数
専門科目	パッケージプログラム科目	グローバル社会と日本	2
		共同体論	2
		多文化共生論	2
	実習・演習科目	パッケージプログラム演習	2
		ホスピタリティ・インターンシップ	2
		海外インターンシップ	2
		海外ワークキャンプ	2
		海外実習	2
		体験型特別実習A	2
		体験型特別実習B	2
		海外留学	☆ 海外留学事前演習
	※ 海外留学特別研修 I a	1	
	海外留学特別研修 I b	1	
	海外留学特別研修 I c	1	
	海外留学特別研修 II a	1	
	海外留学特別研修 II b	1	
	海外留学特別研修 II c	1	
	海外留学特別研修 III a	1	
	海外留学特別研修 III b	1	
	海外留学特別研修 III c	1	
	海外留学特別研修 IV a	1	
	海外留学特別研修 IV b	1	
	海外留学特別研修 IV c	1	
	海外留学特別研修 V a	1	
	海外留学特別研修 V b	1	
	海外留学特別研修 V c	1	
	海外留学特別研修 VI a	1	
海外留学特別研修 VI b	1		
海外留学特別研修 VI c	1		
海外留学特別研修 VII a	1		
海外留学特別研修 VII b	1		
海外留学特別研修 VII c	1		
海外留学特別研倒 VIII a	1		
海外留学特別研修 VIII b	1		



区分		授業科目	単位数		
専門科目	海外留学	海外留学特別研修Ⅷc	1		
		海外留学特別研修Ⅸa	1		
		海外留学特別研修Ⅸb	1		
		海外留学特別研修Ⅸc	1		
		海外留学特別研修Ⅹa	1		
		海外留学特別研修Ⅹb	1		
		海外留学特別研修Ⅹc	1		
	ゼミ・卒業研究	初年次ゼミナール	②		
		基礎ゼミナール	②		
		基礎演習Ⅰ	②		
		基礎演習Ⅱ	②		
		文化演習Ⅰ	②		
		文化演習Ⅱ	②		
		卒業研究Ⅰ	②		
		卒業研究Ⅱ	②		
		基礎科目	外国語	英語Ⅰ	②
				英語Ⅱ	②
英語Ⅲ	②				
英語Ⅳ	2				
中国語Ⅰ	②				
中国語Ⅱ	2				
中国語Ⅲ	2				
中国語Ⅳ	2				
スペイン語Ⅰ	②				
スペイン語Ⅱ	2				
スペイン語Ⅲ	2				
スペイン語Ⅳ	2				
インドネシア語Ⅰ	②				
インドネシア語Ⅱ	2				
インドネシア語Ⅲ	2				
インドネシア語Ⅳ	2				
フランス語Ⅰ	②				
フランス語Ⅱ	2				
フランス語Ⅲ	2				

区分		授業科目	単位数	
基礎科目	外国語	フランス語Ⅳ	2	
		韓国語Ⅰ	2	
		韓国語Ⅱ	2	
		韓国語Ⅲ	2	
		韓国語Ⅳ	2	
	時事	時事問題Ⅰ	2	
		時事問題Ⅱ	2	
	情報処理	情報処理Ⅰ	2	
		情報処理Ⅱ	2	
	体育	スポーツ科学実習Ⅰ	1	
		スポーツ科学実習Ⅱ	1	
		健康論	2	
	外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2	
		日本事情FⅡ	2	
		日本語読解FⅠ	1	
		日本語読解FⅡ	1	
		日本語文法FⅠ	1	
		日本語文法FⅡ	1	
		日本語表現作文FⅠ	1	
		日本語表現作文FⅡ	1	
		日本語総合FⅠ	1	
		日本語総合FⅡ	1	
		専門日本語FⅠ	1	
		専門日本語FⅡ	1	
		日本語会話FⅠ	1	
		日本語会話FⅡ	1	
		帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
			日本事情RⅡ	2
	日本語読解R		1	
	日本語文法R		1	
	日本語表現作文R		1	
	日本語総合R		1	
専門日本語R	1			
日本語会話R	1			

区分		授業科目	単位数
教養科目	人文系	人間の探求	2
		芸術論	2
		文化人類学	2
		心理学	2
	社会系	現代社会と法	2
		日本国憲法	2
		経済のしくみ	2
		世界の政治	2
		組織と経営	2
	自然系	住まいとデザイン	2
		食品機能学	2
		人体の構造と機能	2
		自然科学の理解	2
		ものづくり研究の世界	2
		生物と環境	2
	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
		地域貢献実践演習	2
	教養特別	教養特別講義Ⅰ	2
		教養特別講義Ⅱ	2
		教養特別講義Ⅲ	2
		教養特別講義Ⅳ	2
		教養特別講義Ⅴ	2
キャリア形成科目	キャリアデザイン	キャリアデザイン	①
		キャリアプランニング	①
		エンプロイメントデザインⅠ	1
		エンプロイメントデザインⅡ	1
		インターンシップⅠ	2
		インターンシップⅡ	2

区分		授業科目	単位数
キャリア 形成 科目	キャリア基礎	日本語能力開発Ⅰ	1
		日本語能力開発Ⅱ	1
		数的能力開発	1
		コミュニケーション能力開発	1
		ビジネスマナー	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分		英語プロフェッショナルコース	国際キャリアコース
専門科目	必修科目	16単位	
	選択必修科目	29単位以上	28単位以上
	選択科目	41単位以上	42単位以上
	小計	86単位以上	
基礎科目	必修科目	4単位	
	選択必修科目	選択必修科目2単位以上を含む6単位以上	
	選択科目		
	小計	10単位以上	
教養科目		16単位以上	
キャリア形成科目	必修科目	2単位	
	選択科目	3単位以上	
	小計	5単位以上	
上記3科目(基礎科目、教養科目、キャリア形成科目)に定める卒業に必要な単位数を超えて修得した科目		7単位以上	
計		124単位以上	

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

3 授業科目の前に、○を付した授業科目は当該専攻言語を選択した者の選択必修科目、※を付した授業科目は「英語プロフェッショナルコース」を選択した者の選択必修科目、◎を付した授業科目は「国際キャリアコース(英語専攻)」を選択した者の選択必修科目、☆を付した授業科目は摂南大学学生海外留学規定により留学する者の必修科目を示す。

4 上記2、3に該当しない授業科目は、選択科目を示す。

3 経営学部

イ 経営学科

区分	授業科目	単位数	
専門科目	専門基礎	経営学Ⅰ	②
	科目群	経営学Ⅱ	②
経営管理論		2	
簿記入門		④	
財務諸表論入門		2	
マーケティング概論		2	
経済学入門		2	
ミクロ経済学		2	
経営史		2	
ビジネス情報処理Ⅰ		②	
ビジネス情報処理Ⅱ		2	
ICT概論		2	
情報倫理		2	
経営統計学		2	
市場調査入門		2	
マネジメントサイエンス		2	
企業経営群		経営組織論	2
		マーケティング戦略論	2
	経営戦略論	2	
	人的資源管理論Ⅰ	2	
	人的資源管理論Ⅱ	2	
	現代日本経営史	2	
	生産管理論	2	
	企業論	2	
	CSR経営論	2	
	グローバル経営論	2	
マクロ経済学	2		
会計ファイナンス群	商業簿記	2	
	工業簿記	2	
	財務会計論Ⅰ	2	
	財務会計論Ⅱ	2	

区分	授業科目	単位数	
専門科目	会計ファイナンス群	管理会計論Ⅰ	2
		管理会計論Ⅱ	2
		会計情報分析論	2
		ファイナンスⅠ	2
		ファイナンスⅡ	2
		コーポレート・ファイナンスⅠ	2
		コーポレート・ファイナンスⅡ	2
	応用・実践科目群	ベンチャービジネス論	2
		ビジネスプランニング	2
		中小企業会計論	2
		企業分析(経営戦略ケース分析)	2
		企業分析(財務戦略ケース分析)	2
		企業分析(経営組織ケース分析)	2
		経営事例研究	2
		経営学特講Ⅰ	2
		経営学特講Ⅱ	2
		経営学特講Ⅲ	2
	法律科目群	民法	2
		会社法	2
		労働法	2
		金融商品取引法	2
	演習・卒業研究	基礎演習	②
		専門基礎演習	②
		演習Ⅰ	④
		演習Ⅱ	④
		卒業研究	④
	基礎科目	外国語	英語Ⅰa
		英語Ⅰb	1
		英語Ⅰc	1
		英語Ⅰd	1
		英語Ⅱa	1
		英語Ⅱb	1
		英語Ⅱc	1
		英語Ⅱd	1

区分	授業科目	単位数	
基礎科目	外国語		
	ビジネスイングリッシュ I	1	
	ビジネスイングリッシュ II	1	
	英語コミュニケーション I	1	
	英語コミュニケーション II	1	
	海外語学研修	2	
	ビジネス中国語基礎a	1	
	ビジネス中国語基礎b	1	
	ビジネス中国語基礎c	1	
	ビジネス中国語基礎d	1	
	中国語を聞く a	1	
	中国語を聞く b	1	
	中国語を話す a	1	
	中国語を話す b	1	
	日本語	日本語表現法 I	1
		日本語表現法 II	1
	数学	数学基礎 I	1
		数学基礎 II	1
	保健体育	スポーツ科学実習 I	1
		スポーツ科学実習 II	1
		生涯スポーツ実習	1
		保健論	2
	外国人留	日本事情F I	2
	学生対象	日本事情F II	2
	科目	日本語読解F I	1
		日本語読解F II	1
		日本語文法F I	1
		日本語文法F II	1
		日本語表現作文F I	1
		日本語表現作文F II	1
日本語総合F I		1	
日本語総合F II		1	

区分		授業科目	単位数
基礎科目	外国人留 学生対象 科目	専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生 対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1
教養科目	人文系	心理学 I	2
		心理学 II	2
		哲学 I	2
		哲学 II	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
	社会系	社会学 I	2
		社会学 II	2
		倫理学	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		政治学概論 I	2
		政治学概論 II	2
	自然系	住まいとデザイン	2
		自然地理学	2
		環境と現代社会	2
		公衆衛生学	2
		科学技術教養	2



区分		授業科目	単位数	
教養科目	地域志向系	地域と私	2	
		北河内を知る	2	
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2	
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2	
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2	
		地域貢献実践演習	2	
	教養特別	教養特別講義Ⅰ	2	
		教養特別講義Ⅱ	2	
		教養特別講義Ⅲ	2	
		教養特別講義Ⅳ	2	
		教養特別講義Ⅴ	2	
	キャリア形成科目	デザイン	キャリアデザイン	②
			インターンシップ基礎	2
			エンプロイメントデザインⅠ	1
エンプロイメントデザインⅡ			1	
ビジネスインターンシップⅠ			2	
ビジネスインターンシップⅡ			2	
キャリアプラン			1	
職業能力開発			2	
キャリア基礎			数的能力開発	1
			コミュニケーション能力開発	2
			ビジネスマナーⅠ	1
			ビジネスマナーⅡ	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	26単位	—————	60単位以上	86単位以上
基礎科目	—————	12単位以上 (選択必修科目4単位以上を含む外国語科目8単位以上を含む)		12単位以上
教養科目	—————	—————	20単位以上 (人文系・社会系・自然系各2単位以上を含む)	20単位以上
キャリア形成科目	2単位	—————	4単位以上	6単位以上
計	28単位	96単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 経営情報学科

区分	授業科目	単位数	
専門科目	専門基礎	経営学Ⅰ	②
	科目群	経営学Ⅱ	②
		経営管理論	2
		簿記入門	4
		財務諸表論入門	2
		マーケティング概論	②
		経済学入門	2
		ミクロ経済学	2
		経営史	2
		ビジネス情報処理Ⅰ	②
		ビジネス情報処理Ⅱ	2
		ICT概論	②
		情報倫理	2
		経営統計学	2
		市場調査入門	2
		マネジメントサイエンス	2
		マーケティング群	消費者行動論
	リテールマーケティング		2
	流通情報システム論		2
	マーケティング戦略論		2
	メディアと社会		2
	メディア戦略論		2
	市場調査法		2
	ビジネスデータ分析		2
	マーケティング情報解析		2
	ビジネスシミュレーション		2
	マーケティングサイエンス	2	
	ビジネスIT群	プログラミングⅠ	2
		プログラミングⅡ	2
		情報ネットワーク	2
		マルチメディア処理Ⅰ	2
		コンピュータサイエンス	2

区分		授業科目	単位数	
専門科目	ビジネス IT群	経営情報システムⅠ	2	
		経営情報システムⅡ	2	
		プロジェクトマネジメント	2	
		コンテンツビジネス	2	
		知的財産管理論	2	
		情報と職業	2	
	応用・実 践科目群	ベンチャービジネス論	2	
		ビジネスプランニング	2	
		市場調査実習Ⅰ	2	
		市場調査実習Ⅱ	2	
		マーケティング演習	2	
		ネットワーク運用管理	2	
		マルチメディア処理Ⅱ	2	
		ビジネスIT演習	2	
		経営事例研究	2	
		経営学特講Ⅰ	2	
		経営学特講Ⅱ	2	
		経営学特講Ⅲ	2	
		法律科目 群	民法	2
			会社法	2
	労働法		2	
	演習・卒 業研究	基礎演習	②	
		専門基礎演習	②	
演習Ⅰ		④		
演習Ⅱ		④		
卒業研究		④		
基礎科目	外国語	英語Ⅰa	①	
		英語Ⅰb	①	
		英語Ⅰc	①	
		英語Ⅰd	①	
		英語Ⅱa	①	
		英語Ⅱb	①	
		英語Ⅱc	①	
		英語Ⅱd	①	

区分	授業科目	単位数	
基礎科目	外国語		
	ビジネスイングリッシュ I	1	
	ビジネスイングリッシュ II	1	
	英語コミュニケーション I	1	
	英語コミュニケーション II	1	
	海外語学研修	2	
	ビジネス中国語基礎a	1	
	ビジネス中国語基礎b	1	
	ビジネス中国語基礎c	1	
	ビジネス中国語基礎d	1	
	中国語を聞く a	1	
	中国語を聞く b	1	
	中国語を話す a	1	
	中国語を話す b	1	
	日本語	日本語表現法 I	1
		日本語表現法 II	1
	数学	数学基礎 I	1
		数学基礎 II	1
	保健体育	スポーツ科学実習 I	1
		スポーツ科学実習 II	1
		生涯スポーツ実習	1
		保健論	2
	外国人留	日本事情F I	2
	学生対象	日本事情F II	2
	科目	日本語読解F I	1
		日本語読解F II	1
		日本語文法F I	1
		日本語文法F II	1
		日本語表現作文F I	1
		日本語表現作文F II	1
日本語総合F I		1	
日本語総合F II		1	

区分		授業科目	単位数
基礎科目	外国人留 学生対象 科目	専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生 対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1
教養科目	人文系	心理学 I	2
		心理学 II	2
		哲学 I	2
		哲学 II	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
	社会系	社会学 I	2
		社会学 II	2
		倫理学	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		政治学概論 I	2
		政治学概論 II	2
	自然系	住まいとデザイン	2
		自然地理学	2
		環境と現代社会	2
		公衆衛生学	2
		科学技術教養	2

区分	授業科目	単位数		
教養科目	地域志向	地域と私	2	
	系	北河内を知る	2	
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2	
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2	
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2	
		地域貢献実践演習	2	
		教養特別	教養特別講義Ⅰ	2
		教養特別講義Ⅱ	2	
		教養特別講義Ⅲ	2	
		教養特別講義Ⅳ	2	
		教養特別講義Ⅴ	2	
	キャリア	キャリア	キャリアデザイン	②
	形成科目	デザイン	インターンシップ基礎	2
			エンプロイメントデザインⅠ	1
			エンプロイメントデザインⅡ	1
ビジネスインターンシップⅠ			2	
ビジネスインターンシップⅡ			2	
キャリアプラン			1	
職業能力開発			2	
キャリア			数的能力開発	1
基礎		コミュニケーション能力開発	2	
		ビジネスマナーⅠ	1	
		ビジネスマナーⅡ	1	

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	26単位	—————	60単位以上	86単位以上
基礎科目	—————	12単位以上 (選択必修科目4単位以上を含む外国語科目8単位以上を含む)		12単位以上
教養科目	—————	—————	20単位以上 (人文系・社会系・自然系各2単位以上を含む)	20単位以上
キャリア形成科目	2単位	—————	4単位以上	6単位以上
計	28単位	96単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。



## 4 薬学部

## 薬学科

区分	授業科目		単位数	
専門科目	基礎	薬剤師になるために	必	1.5
		化学	選必	1
		物理学	選必	1
		生物学	選必	1
	物理・化学系	有機化学Ⅰ	選必	1
		有機化学Ⅱ	選必	1
		物理化学Ⅰ	選必	1
		物理化学Ⅱ	選必	1
		薬品分析学	選必	1
		臨床分析学	選必	1
		機器分析学Ⅰ	選必	1
		機器分析学Ⅱ	選必	1
		生薬学	選必	1
		天然物化学	選必	1
		医薬品化学Ⅰ	選必	1
		医薬品化学Ⅱ	選必	1
		生物系	生化学Ⅰ	選必
	生化学Ⅱ		選必	1
	生理解剖学Ⅰ		選必	1
	生理解剖学Ⅱ		選必	1
	生体情報伝達学		選必	1
	微生物学		選必	1
	免疫学		選必	1
	分子細胞生物学Ⅰ		選必	1
	分子細胞生物学Ⅱ		選必	1
	細胞生物学		選必	1
	衛生系	環境衛生学	選必	1
		公衆衛生学	選必	1
		毒性学	選必	1
		食品衛生学	選必	1
		保健衛生学	選必	1

区分		授業科目	単位数
専門科目	医療系	薬理学Ⅰ	選必 1
		薬理学Ⅱ	選必 1
		化学療法論	選必 1
		精神神経疾患治療学	選必 1
		循環器疾患治療学	選必 1
		消化器・血液疾患治療学	選必 1
		感染症治療学	選必 1
		内分泌・代謝性疾患治療学	選必 1
		免疫疾患治療学	選必 1
		腎・生殖器疾患治療学	選必 1
		悪性腫瘍治療学・緩和医療	選必 1
		病態生化学	選必 1
		病態生理学	選必 1
		物理薬剤学	選必 1
		生物薬剤学	選必 1
		薬物動態学	選必 1
		統計学	選必 1
		臨床薬物動態学	選必 1
		製剤学	選必 1
		漢方処方学	選必 1
		臨床栄養学	選必 1
		放射線生物学	選必 1
		実践薬学Ⅰ	選必 1
		実践薬学Ⅱ	選必 1
		実践薬学Ⅲ	選必 1
		実践薬学Ⅳ	選必 1
		実践薬学Ⅴ	必 1
		社会薬学	選必 1
		医薬品情報学	選必 1
		薬事関連法規	選必 1
セルフメディケーション論	選必 1		
症候学	選必 1		
医薬品開発論	選必 1		

区分	授業科目		単位数	
専門科目	実習・演習	早期体験学習	必	3
		基盤実習	必	3
		化学系薬学実習	必	3
		生物・衛生系薬学実習	必	3
		医療系薬学実習	必	3
		プレファーマシー実習	必	4
		フィジカルアセスメント実習	必	1
		薬学臨床実習	必	20
		基盤演習Ⅰ(物理・化学計算)	必	1.5
		基盤演習Ⅱ(生物学)	必	1.5
		基盤演習Ⅲ(化学)	必	1.5
		物理・化学系薬学演習	必	2
		生物・薬理系薬学演習	必	2
		衛生・医療系薬学演習	必	2
		DI演習	必	1.5
		薬学臨床実習事後演習	必	2
		総合薬学演習	必	5
		薬学研究Ⅰ	必	4
		薬学研究Ⅱ	必	5
	基礎科目	外国語	文章表現法	選
英語Ⅰa			選	1.5
英語Ⅰb			選	1.5
英語ⅠC			選	1.5
英語Ⅰd			選	1.5
英語Ⅱa			選	1.5
英語Ⅱb			選	1.5
薬学英语			必	1.5
医療英会話			必	1.5
海外語学研修			選	2
体育		スポーツ科学	選	1.5
外国人留 学生対象 科目		日本事情FⅠ	選	2
		日本事情FⅡ	選	2
		日本語読解FⅠ	選	1
		日本語読解FⅡ	選	1

区分	授業科目		単位数	
基礎科目	外国人留学生対象科目	日本語文法F I	選	1
		日本語文法F II	選	1
		日本語表現作文F I	選	1
		日本語表現作文F II	選	1
		日本語総合F I	選	1
		日本語総合F II	選	1
		専門日本語F I	選	1
		専門日本語F II	選	1
		日本語会話F I	選	1
	日本語会話F II	選	1	
	帰国学生対象科目	日本事情R I	選	2
		日本事情R II	選	2
		日本語読解R	選	1
		日本語文法R	選	1
		日本語表現作文R	選	1
		日本語総合R	選	1
		専門日本語R	選	1
日本語会話R	選	1		
教養科目	人文系	コミュニケーション論	選	1.5
		心理学	選	1.5
		哲学	選	1.5
		文学	選	1.5
		臨床心理学	必	1.5
		発達心理学	必	1.5
	社会系	ボランティア活動論	選	1.5
		日本国憲法	選	1.5
		法学入門	選	1.5
		経済学	選	1.5
		女性学	選	1.5
		教育学	選	1.5
		観光学	選	1.5
	自然系	生命倫理学	必	1.5
		数学	必	1.5
論理学		選	1.5	

区分		授業科目	単位数	
教養科目	地域志向系	地域と私	選	2
		北河内を知る	選	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	選	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	選	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	選	2
		地域貢献実践演習	選	2
	教養特別	教養特別講義Ⅰ	選	2
		教養特別講義Ⅱ	選	2
		教養特別講義Ⅲ	選	2
		教養特別講義Ⅳ	選	2
		教養特別講義Ⅴ	選	2
	キャリア形成科目	スタートアップゼミ	必	1
		キャリア形成Ⅰ	必	2
		キャリア形成Ⅱ	選必	2
		キャリア形成Ⅲ	選必	2
キャリア形成Ⅳ		必	2	
患者安全		必	2	
患者コミュニケーション		必	2	
カルテ読解演習		必	3	
セルフメディケーション演習		必	1.5	
クリニカルパス演習		必	1.5	
グローバルコミュニケーション(中国語)		選必	1.5	
グローバルコミュニケーション(韓国語)		選必	1.5	
グローバルコミュニケーション(スペイン語)		選必	1.5	
グローバルコミュニケーション(インドネシア語)		選必	1.5	
天然薬用資源学		選	1.5	
薬事・衛生行政		選	1.5	
医療経済学		選	1.5	
応用薬学実習		選	1.5	
医薬品開発演習		選	1.5	
薬局経営		選	1.5	
アドバンスト臨床薬学	選	1.5		

備考

1 卒業に必要な単位数

区分			計
専門科目	必修科目	70.5単位	129.5単位以上
	選択必修科目	59単位以上	
基礎科目	必修科目	3単位	13.5単位以上
	選択科目	10.5単位以上	
教養科目	必修科目	6単位	18単位以上
	選択科目	12単位以上	
キャリア形成科目	必修科目	15単位	26単位以上
	選択必修科目	5単位以上	
	選択科目	6単位以上	
計			187単位以上

2 「必」の授業科目は必修科目、「選必」の授業科目は選択必修科目、「選」の授業科目は選択科目を示す。

3 専門科目の「総合薬学演習」には、最終試験を含む。

## 5 法学部

## 法律学科

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特 修	企業法務	地域政策	スポーツ 法政策
専門科目	基礎法学	法学概論	2	○	○	○	○
		法哲学総論	2	□	□	□	□
		法哲学各論	2	□	□	□	□
		法思想史	2	□			□
		法社会学	2	□		□	
		近世日本の法文化	2	□			
		日本の人権の歴史	2	□		□	□
		家族と地域の法社会史	2			□	□
		日本女性史	2		□	□	
		祭りと地域の法社会史	2			□	
		西洋の人権の歴史	2	□		□	□
		西洋の裁判の歴史	2	□			
		西洋女性史	2			□	
		英米法	2		□		
	憲法・ 行政法	憲法概論	2	□	□	□	□
		憲法Ⅰ(基本的人権)	2	□	□		
		憲法Ⅱ(統治機構)	2	□	□		
		行政法総論	2	□	□	□	□
		行政法各論	2	□	□	□	□
		地方自治法	2	□	□	□	□
		租税法Ⅰ	2	□	□	□	
		租税法Ⅱ	2	□	□	□	
	刑事法	刑事法概論	2	□	□	□	□
		刑法総論	2	□	□	□	□
		刑法各論	2	□	□	□	□
		経済刑法	2	□	□		
		刑事政策	2	□		□	□
		現代社会と刑事法	2	□		□	□
		刑事訴訟法	2	□	□	□	

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特 修	企業法務	地域政策	スポーツ 法政策
専門科 目	民事法	民事法概論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		民法総則	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		法人法概説	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		物権法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		不動産取引法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		債権総論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		債権各論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		不法行為法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		親族法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
		相続法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		消費者と法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		国際私法総論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
		国際私法各論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
		民事訴訟法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		倒産法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民事保全・執行法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	商事 法・経 済法	商法総論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		会社法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		有価証券法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		独占禁止法	2		<input type="checkbox"/>		
		金融商品取引法	2		<input type="checkbox"/>		
		保険法	2		<input type="checkbox"/>		
		知的財産法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		国際取引法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	社会法	労働保護法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		労働組合法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		社会保障法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		環境法	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国際法	国際社会と法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		国際法の基礎理論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		国際人権法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		国際組織法	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特 修	企業法務	地域政策	スポーツ 法政策
専門科目	政治学・国際政治	政治学概論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		世界の政治と社会	2			<input type="checkbox"/>	
		近代日本政治史	2			<input type="checkbox"/>	
		日本外交史	2			<input type="checkbox"/>	
		西洋政治思想史	2			<input type="checkbox"/>	
		国際関係史	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		国際関係論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		グローバル社会論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本政治論	2			<input type="checkbox"/>	
		市民社会論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		政治過程論	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	行政学・政策学・政策実務	公共政策の基礎	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		行政学	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		政治と政策	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		地方自治論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		地域防犯政策	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		住民協働論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		福祉政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		国際ボランティア論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		金融論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		財政学	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		地方財政論	2			<input type="checkbox"/>	
		法情報学	2				
		裁判制度特別講義	2				
		地域調査入門	2			<input type="checkbox"/>	
	言語	法学部生のための日本語	2				<input type="checkbox"/>
		法律英語	2	<input type="checkbox"/>			
	スポーツ法政策	スポーツと法律	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		スポーツ文化論	2				<input type="checkbox"/>
		地域とスポーツ	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スポーツマネジメント	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	グローバル社会とスポーツ	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特 修	企業法務	地域政策	スポーツ 法政策
専門科 目	法律学 特修特 別講義	実定法特別講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			
		実定法特別講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>			
		実定法上級講義	2	<input type="checkbox"/>			
		憲法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
		行政法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
		民法応用講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		民法応用講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		商法応用講義	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		民事訴訟法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
		刑法応用講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			
		刑法応用講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>			
		刑事訴訟法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
	企業法 務特別 講義	企業法務特別講義Ⅰ(金融法実務)	2		<input type="checkbox"/>		
		企業法務特別講義Ⅱ(貿易実務)	2		<input type="checkbox"/>		
		企業法務特別講義Ⅲ(不動産取引実務)	2		<input type="checkbox"/>		
	地域政 策特別 講義	ボランティアと法律	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		地域政策応用講義Ⅰ(警察行政)	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		地域政策応用講義Ⅱ(地方政策論)	2			<input type="checkbox"/>	
		地域政策応用講義Ⅲ(地方財政論)	2			<input type="checkbox"/>	
	スポー ツ法政 策特別 講義	スポーツ政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		スポーツビジネスと法	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		フィットネストレーニングの理論と実際	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		ヘルスエクササイズの理論と実際	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スポーツ医学の理論と実際		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
体力測定とスポーツ相談		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特 修	企業法務	地域政策	スポーツ 法政策
専門科 目	外国人 留学生 対象科 目	日本の法事情F I	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F II	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F III	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F IV	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F V	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F VI	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	専門キ ャリア 特別講 義	法政キャリア特別講義 I	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		法政キャリア特別講義 II	2				
		法政キャリア特別講義 III	2				
		法政キャリア特別講義 IV	2				
		法政キャリア特別講義 V	2				
		法政キャリア特別講義 VI	2				
		法政キャリア特別講義 VII	2				
	演習・ 卒業研 究	法学基礎演習 I	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		法学基礎演習 II	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		プレ専門演習	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		専門演習 I	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		専門演習 II	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		卒業研究	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	基礎科 目	外国語	英語 I a	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
英語 I b			1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
英語 I c			1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
英語 I d			1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
英語 II a			1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
英語 II b			1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
英会話 I			1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
英会話 II			1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
情報処 理		情報処理 I	2				
		情報処理 II	2				
健康		スポーツ科学概論	2				<input type="checkbox"/>
		スポーツ科学実習 I a	1			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		スポーツ科学実習 I b	1			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特 修	企業法務	地域政策	スポーツ 法政策
基礎科 目	健康	スポーツ科学実習Ⅱa	1				<input type="checkbox"/>
		スポーツ科学実習Ⅱb	1				<input type="checkbox"/>
	外国人 留学生 対象科 目	日本事情FⅠ	2				
		日本事情FⅡ	2				
		日本語読解FⅠ	1				
		日本語読解FⅡ	1				
		日本語文法FⅠ	1				
		日本語文法FⅡ	1				
		日本語表現作文FⅠ	1				
		日本語表現作文FⅡ	1				
		日本語総合FⅠ	1				
		日本語総合FⅡ	1				
		専門日本語FⅠ	1				
		専門日本語FⅡ	1				
		日本語会話FⅠ	1				
		日本語会話FⅡ	1				
		日本語会話FⅢ	1				
		日本語会話FⅣ	1				
		日本語会話FⅤ	1				
		日本語会話FⅥ	1				
		日本語会話FⅦ	1				
	日本語会話FⅧ	1					
	帰国学 生対象 科目	日本事情RⅠ	2				
		日本事情RⅡ	2				
		日本語読解R	1				
		日本語文法R	1				
		日本語表現作文R	1				
日本語総合R		1					
専門日本語R		1					
日本語会話R	1						

区分	分野	授業科目	単位数
教養科目	人文系	哲学Ⅰ	2
		哲学Ⅱ	2
		文学	2
		国語学	2
		日本史概論	2
		世界史概論	2
		スポーツの歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		社会系	経済学入門
	教養経済学		2
	経営学入門		2
	会計学		2
	心理学Ⅰ		2
	心理学Ⅱ		2
	社会学Ⅰ		2
	社会学Ⅱ		2
	スポーツ心理学		2
	社会調査の方法		2
	自然系	教養数学	2
		教養物理	2
		教養化学	2
		教養生物	2
		自然地理学	2
		スポーツプログラミング	2
		スポーツ栄養学	2
		応用情報処理	2
	健康系	スポーツ指導者入門	2
		スポーツトレーニングの基礎	2
		発育発達論	2
		スポーツ医学の基礎	2
		スポーツ教育学	2

区分	分野	授業科目	単位数
教養科目	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
		地域貢献実践演習	2
	教養特別	教養特別講義Ⅰ	2
		教養特別講義Ⅱ	2
		教養特別講義Ⅲ	2
		教養特別講義Ⅳ	2
		教養特別講義Ⅴ	2
	外国語・海外事情	時事英語Ⅰ	1
		時事英語Ⅱ	1
		海外語学研修	2
		教養中国語Ⅰ	1
		教養中国語Ⅱ	1

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法律学特 修	企業法務	地域政策	スポーツ 法政策
キャリア 形成 科目	キャリア アデザ イン	キャリアデザインⅠ	1	○	○	○	○
		キャリアデザインⅡ	1	○	○	○	○
		キャリアデザインⅢ	1	□	□	□	□
		エンプロイメントデザインⅠ	1	□	□	□	□
		エンプロイメントデザインⅡ	1	□	□	□	□
		インターンシップⅠ	2				
		インターンシップⅡ	2				
	キャリア ア基礎	日本語能力開発Ⅰ	1	□	□	□	□
		日本語能力開発Ⅱ	1	□	□	□	□
		数的能力開発Ⅰ	1	□	□	□	□
		数的能力開発Ⅱ	1	□	□	□	□
		コミュニケーション能力開発	1	□	□	□	□
		ビジネスマナーⅠ	1				
		ビジネスマナーⅡ	1				

備考

1 卒業に必要な単位数

区分		法学特修コ ース	企業法務コ ース	地域政策コ ース	スポーツ法政 策コース	
専門科目	必修科目	18単位				
	選択必修科目	44単位以上	40単位以上	40単位以上	38単位以上	
	選択科目	24単位以上	28単位以上	28単位以上	30単位以上	
	小計	86単位以上				
基礎科目	必修科目	4単位				
	選択必修科目	選択必修科目2単位以上				
	選択科目					
	小計	6単位以上				
教養科目	必修科目	—				
	選択必修科目	—				
	選択科目	人文系	6単位以上			
		社会系	6単位以上			
		自然系	6単位以上			
	小計(上記3系統を含む)	26単位以上				
キャリア形成科目	必修科目	2単位				
	選択必修科目	選択必修科目3単位以上を含む4単位以上				
	選択科目					
	小計	6単位以上				
計	124単位以上					

2 専門科目、基礎科目、キャリア形成科目のコース別履修区分の表示において、○は必修科目、□は選択必修科目、その他は選択科目を示す。

3 教養科目は、すべて選択科目とする。

4 基礎科目の所定の単位数を超えて修得した単位数は、4単位を上限として教養科目(人文系、社会系、自然系を除く)の修得単位数として算入することができる。

6 経済学部  
経済学科

区分	授業科目	単位数	
専門科目	基礎科目群		
	経済学入門 (エコノミックリテラシー)	②	
	地域経済入門	②	
	観光学入門	②	
	国際経済学入門	②	
	会計学入門	2	
	日本経済史	2	
	日本経済論	2	
	経営学	2	
	経済地理	2	
	ミクロ経済学Ⅰ	②	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	
	マクロ経済学Ⅰ	②	
	マクロ経済学Ⅱ	2	
	社会経済学Ⅰ	②	
	社会経済学Ⅱ	2	
	統計学	②	
	労働経済学	2	
	経済思想史	2	
	西洋経済史	2	
	アジア経済史	2	
	簿記原理Ⅰ	2	
	簿記原理Ⅱ	2	
	財政学	2	
	金融論	2	
	ゲーム理論	2	
	計量経済学	2	
	管理会計	2	
	地域経済群		
		◎公共政策論	2
		◎関西経済論	2
		◎地方自治論	2
	地域金融論	②	



	区分	授業科目	単位数
専門科目	地域経済群	◎地方財政論	2
		日本産業史	2
		地域保健医療	2
		地域の持続的発展	2
		中小企業論	2
		地域経済実践演習	2
		文化政策論	2
	観光経済群	◇観光経済論	2
		◇観光マーケティング論	2
		◇観光人材論	2
		◇観光産業における経営分析	2
		観光産業政策論	2
		宿泊産業論	2
		航空産業論	2
		レジャー産業論	2
		観光ビジネス英語	2
		観光経済実践演習	2
		観光資源論	2
		国際経済群	△貿易論
	△国際投資論		2
	△地域統合論		2
	国際協力論		2
	△開発経済学		2
	国際金融論		2
	国際マーケティング論		2
	EU経済論		2
	農業・資源経済学		2
	国際経済実践演習		2
	国際経済の新動向		2
	アドバンスト科目群	摂南経済ゲストレクチャー	2
		地球環境経済	2
		産業組織論	2
		現代ファイナンス論	2
ファイナンシャル・プランニング		2	

区分		授業科目	単位数
専門科目	アドバンスト科目群	アメリカ経済・文化論	2
		交通経済論	2
		サービス産業論	2
		公共経済学	2
		公益会計論	2
		社会保障論	2
		世界観光事情	2
		民法	2
		商法	2
		会社法	2
		行政法	2
		労働法	2
		経済学特別講義Ⅰ	2
		経済学特別講義Ⅱ	2
		経済学特別講義Ⅲ	2
	演習・卒業研究	基礎演習	④
		専門演習Ⅰ	④
専門演習Ⅱ		④	
卒業研究		④	
基礎科目	外国語	英語Ⅰa	1
		英語Ⅰb	1
		英語Ⅱa	1
		英語Ⅱb	1
		ビジネスイングリッシュⅠ	1
		ビジネスイングリッシュⅡ	1
		英語基礎会話a	①
		英語基礎会話b	①
		海外語学研修	2
	日本語	日本語表現Ⅰ	1
		日本語表現Ⅱ	1
	数学	数学基礎Ⅰ	2
		数学基礎Ⅱ	2
	情報	経済情報論	②

区分		授業科目	単位数
基礎科目	体育	スポーツ科学実習Ⅰ	1
		スポーツ科学実習Ⅱ	1
	外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
		日本事情FⅡ	2
		日本語読解FⅠ	1
		日本語読解FⅡ	1
		日本語文法FⅠ	1
		日本語文法FⅡ	1
		日本語表現作文FⅠ	1
		日本語表現作文FⅡ	1
		日本語総合FⅠ	1
		日本語総合FⅡ	1
		専門日本語FⅠ	1
		専門日本語FⅡ	1
		日本語会話FⅠ	1
		日本語会話FⅡ	1
	帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
		日本事情RⅡ	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
日本語表現作文R		1	
日本語総合R		1	
専門日本語R		1	
日本語会話R	1		
教養科目	人文系	心理学Ⅰ	2
		心理学Ⅱ	2
		哲学Ⅰ	2
		哲学Ⅱ	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2

	区分	授業科目	単位数
教養科目	社会系	社会学	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		政治学	2
		世界の政治	2
	自然系	自然地理学	2
		生物学	2
		公衆衛生学	2
		科学技術教養	2
	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
		地域貢献実践演習	2
	教養特別	教養特別講義Ⅰ	2
		教養特別講義Ⅱ	2
		教養特別講義Ⅲ	2
		教養特別講義Ⅳ	2
		教養特別講義Ⅴ	2
キャリア形成科目	キャリアデザイン	経済キャリア入門	②
		キャリアデザイン	1
		キャリアプラン	1
		エンプロイメントデザインⅠ	1
		エンプロイメントデザインⅡ	1
		インターンシップⅠ	2
		インターンシップⅡ	2
		キャリア特別講義	2
	基礎キャリア	数的能力開発	1
		ビジネスマナーⅠ	1
		ビジネスマナーⅡ	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	40単位	8単位以上	38単位以上	86単位以上
基礎科目	4単位	—	8単位以上	12単位以上
教養科目	—	—	22単位以上	22単位以上
キャリア形成科目	2単位	—	2単位以上	4単位以上
計	46単位	8単位以上	70単位以上	124単位以上

2 専門科目のうち、授業科目の前に◎を付した科目は「地域経済コース」を選択した者の必修科目、◇を付した科目は「観光経済コース」を選択した者の必修科目、△を付した科目は「国際経済コース」を選択した者の必修科目とする。

3 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

## 7 看護学部

## 看護学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎	人体の構造と機能Ⅰ	①
		人体の構造と機能Ⅱ	①
		人体の構造と機能Ⅲ	①
		人体の構造と機能Ⅳ	①
		代謝栄養学	①
		病理学総論	①
		感染と防御	①
		薬理学総論	①
		薬物治療学	①
		病院薬学演習	①
		カウンセリング論	2
		疾病・治療論Ⅰ	①
		疾病・治療論Ⅱ	①
		疾病・治療論Ⅲ	①
		疾病・治療論Ⅳ	①
		疾病・治療論Ⅴ	①
		疾病・治療論Ⅵ	①
		疫学	①
		保健医療福祉行政論	②
		公衆衛生学	①
	家族関係論	2	
	家族看護学	①	
	医療経済論	2	
	看護関係法規	①	
	基礎看護学	看護学概論	②
		看護対人関係論	①
		基礎看護技術Ⅰ	②
		基礎看護技術Ⅱ	②
		基礎看護技術Ⅲ	①
		基礎看護技術Ⅳ	①

区分	授業科目	単位数	
専門科目	基礎看護学 看護管理学	①	
	基礎看護学 基礎看護学実習Ⅰ	①	
	基礎看護学 基礎看護学実習Ⅱ	②	
	成人看護学	成人看護学 成人看護学概論	②
		成人看護学 成人病態看護論	①
		成人看護学 成人看護学援助論Ⅰ	①
		成人看護学 成人看護学援助論Ⅱ	①
		成人看護学 成人看護学援助論Ⅲ	①
		成人看護学 成人看護学実習Ⅰ	③
		成人看護学 成人看護学実習Ⅱ	③
		老年看護学	老年看護学 老年看護学概論
	老年看護学 老年看護学援助論Ⅰ		①
	老年看護学 老年看護学援助論Ⅱ		①
	老年看護学 老年看護学実習Ⅰ		①
	老年看護学 老年看護学実習Ⅱ		①
	老年看護学 老年看護学実習Ⅲ		②
	小児看護学	小児看護学 小児看護学概論	①
		小児看護学 小児看護学援助論Ⅰ	①
		小児看護学 小児看護学援助論Ⅱ	①
		小児看護学 小児看護学実習	②
	母性看護学	母性看護学 母性看護学概論	①
		母性看護学 母性看護学援助論Ⅰ	①
		母性看護学 母性看護学援助論Ⅱ	①
		母性看護学 母性看護学実習	②
	精神看護学	精神看護学 精神看護学概論	①
		精神看護学 精神看護学援助論Ⅰ	①
		精神看護学 精神看護学援助論Ⅱ	①
		精神看護学 精神看護学実習	②
	在宅看護学	在宅看護学 在宅看護学概論	①
		在宅看護学 在宅看護学援助論Ⅰ	②
在宅看護学 在宅看護学援助論Ⅱ		①	
在宅看護学 在宅看護学実習		②	

区分		授業科目	単位数
専門科目	看護の 統合と 実践	公衆衛生看護学概論	②
		看護倫理	①
		看護教育学	1
		国際看護学	1
		海外医療セミナー	1
		災害看護論	1
		看護研究Ⅰ	②
		看護研究Ⅱ	②
		総合看護学演習	①
		統合看護学実習	②
	公衆衛 生看護 学(保健 師課程)	学校保健	1
		産業保健	1
		保健統計学	1
		公衆衛生看護学活動論Ⅰ	2
		公衆衛生看護学活動論Ⅱ	2
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	1
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	3	
	助産学 (助産師 課程)	周産期医学	1
		助産学概論	2
		助産診断・技術学Ⅰ	2
		助産診断・技術学Ⅱ	2
		助産診断・技術学Ⅲ	2
		助産技術学演習Ⅰ	1
		助産技術学演習Ⅱ	1
		助産管理論	1
助産学実習	11		
基礎科目	外国語	英語Ⅰ	①
		英語Ⅱ	①
		英語Ⅲ	①
		英語Ⅳ	1
		英語Ⅴ	1



区分		授業科目	単位数
基礎科目	外国語	中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		韓国語Ⅰ	1
		韓国語Ⅱ	1
	日本語	日本語表現法	①
	情報処理	情報リテラシーⅠ	①
		情報リテラシーⅡ	1
		統計の基礎	①
	体育	スポーツ科学Ⅰ	①
		スポーツ科学Ⅱ	1
	外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
		日本事情FⅡ	2
		日本語読解FⅠ	1
		日本語読解FⅡ	1
		日本語文法FⅠ	1
		日本語文法FⅡ	1
		日本語表現作文FⅠ	1
		日本語表現作文FⅡ	1
		日本語総合FⅠ	1
		日本語総合FⅡ	1
		専門日本語FⅠ	1
		専門日本語FⅡ	1
		日本語会話FⅠ	1
		日本語会話FⅡ	1
	帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
		日本事情RⅡ	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
専門日本語R		1	
日本語会話R	1		

区分		授業科目	単位数
教養科目	人文系	コミュニケーション論	2
		心理学	2
		哲学	2
		文学	2
		文化人類学	2
		教育学	2
	社会系	ボランティア活動論	②
		女性学	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		経済学	2
	自然系	生物・化学の基礎	②
		生命倫理	②
	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
		地域貢献実践演習	2
	教養特別	教養特別講義Ⅰ	2
		教養特別講義Ⅱ	2
		教養特別講義Ⅲ	2
		教養特別講義Ⅳ	2
		教養特別講義Ⅴ	2
	キャリア形成科目	キャリアデザイン	①
		キャリア入門	①
患者安全		①	
患者コミュニケーション		①	
臨床医療演習Ⅰ		1	
臨床医療演習Ⅱ		1	
臨床医療実践演習		1	

## 備考

## 1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	85単位	7単位以上 (専門基礎から4単位以上を含む)	92単位以上
基礎科目	7単位	3単位以上	10単位以上
教養科目	6単位	14単位以上	20単位以上 (人文系、社会系、自然系各2単位以上を含む)
キャリア形成科目	4単位	2単位以上	6単位以上
計	102単位	26単位以上	128単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

## 8 農学部

## イ 農業生産学科

区分		授業科目	単位数	
専門 科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門 コア 群	基礎系	化学	2
			化学演習	1
			生物学	2
			生物学演習	1
			物理学	2
			生物統計学	2
		農業植物・ 栽培系	植物遺伝学	2
			作物機能形態学	2
			植物生理学	2
			植物育種学	②
			作物学	②
			野菜花卉園芸学	②
			植物育種方法論	2
			資源作物学	2
			果樹園芸学	2
			耕地生態学	2
			施設園芸学	2
		農業生物・ 環境系	植物病理学	②
			応用昆虫学	②
			土壌学	②
			植物感染機構学	2
昆虫生理生態学	2			
植物無機栄養学	2			
多様性生物学	2			
土壌微生物学	2			

区分		授業科目	単位数	
専門 科目	専門 コア 群	農業生物・ 環境系	植物病害管理学	2
			害虫防除論	2
			雑草管理学	2
		実験・実習 系	化学実験	②
			生物学実験	②
			物理学実験	2
			農場実習	1
			農業生産学基礎実験Ⅰ	②
			農業生産学基礎実験Ⅱ	②
			農業生産学専門実験	②
			農業生産学実習Ⅰ	②
			農業生産学実習Ⅱ	②
		専門 総合 群	応用生物系	分子からみた植物の働き
	ゲノムと生命			2
	生物の多様性と進化			2
	動物とくらし			2
	微生物とくらし			2
	海洋生物とくらし			2
	食品栄養系			食品学入門
			食品の安全性	2
			旬の食材と薬膳	2
			栄養とスポーツ	2
			栄養と健康	2
			病気の予防と食生活	2
	食農ビジネ ス系		食と農の倫理を学ぶ	2
			食と農の経済を学ぶ	2
			食と農の共生を考える	2
			フードシステムを学ぶ	2
			農業の多様性を学ぶ	2
		食と農の歴史を学ぶ	2	
ゼミ・ 卒業研究	基礎ゼミナール	①		
	農業生産学研究	①		
	卒業研究	⑥		

区分		授業科目	単位数
教養 科目	共通系	大学教養入門	②
	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語 I	1
		実践英語 II	1
		英語基礎会話 a	1
		英語基礎会話 b	1
		中国語 I	1
		中国語 II	1
		海外語学研修	2
	情報系	情報リテラシー I	①
		情報リテラシー II	1
	体育系	スポーツ科学 I	1
		スポーツ科学 II	1
	人文系	心理学	2
		倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		文化人類学	2
		女性学	2
	社会系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2
		法学入門	2
		経営学入門	2
		観光学	2
		日本国憲法	2

区分		授業科目	単位数
教養 科目	自然系	教養数学	2
		生命倫理	②
		生物と環境	2
		地学	2
		地学実験	2
	キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
		キャリアデザインⅡ	1
		数的能力開発	1
		インターンシップ	2
	外国人留学生対象科目	日本事情 FⅠ	2
		日本事情 FⅡ	2
		日本語読解 FⅠ	1
		日本語読解 FⅡ	1
		日本語文法 FⅠ	1
		日本語文法 FⅡ	1
		日本語表現作文 FⅠ	1
		日本語表現作文 FⅡ	1
		日本語総合 FⅠ	1
		日本語総合 FⅡ	1
		専門日本語 FⅠ	1
		専門日本語 FⅡ	1
		日本語会話 FⅠ	1
		日本語会話 FⅡ	1
		帰国学生対象科目	日本事情 RⅠ
	日本事情 RⅡ		2
	日本語読解 R		1
	日本語文法 R		1
	日本語表現作文 R		1
日本語総合 R	1		
専門日本語 R	1		
日本語会話 R	1		

## 備考

## 1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	37単位	61単位以上 ①専門コア群30単位以上 (基礎系6単位以上、農業植物・栽培系および農業生物・環境系から24単位以上を含む) ②専門総合群20単位以上 (各系から4単位以上を含む) を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	43単位	81単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。



ロ 応用生物科学科

区分		授業科目	単位数	
専門 科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門 コア 群	基礎系	化学	2
			化学演習	1
			生物学	2
			生物学演習	1
			物理学	2
			生物統計学	2
		植物系	バイオテクノロジー	②
			生物系統学	2
			ゲノム分子生物学	②
			植物遺伝子工学	②
			ゲノム機能学	2
			植物分子生理学	2
			細胞生物学	②
		微生物系	生化学	②
			応用微生物学	②
			生態学	②
			微生物工学	2
			共生ウイルス学	②
			植物共生微生物学	2
		動物・海洋 生物系	産業動物学	②
			動物機能科学	②
			生体防御学	2
			生物情報学	2
バイオインフォマティクス演習			2	
海洋動物学			②	

区分			授業科目	単位数	
専門 科目	専門 コア 群	動物・海洋 生物系	海洋生物機能学	2	
			海洋生物化学	2	
			水圏生物利用学	2	
			応用藻類学	2	
		実験・実習 系	化学実験	②	
			生物学実験	②	
			物理学実験	2	
			応用生物科学基礎実験Ⅰ	②	
			応用生物科学基礎実験Ⅱ	②	
			応用生物科学専門実験Ⅰ	②	
			応用生物科学専門実験Ⅱ	②	
			専門 総合 群	農業生産系	園芸の技術
		植物の病気			2
		植物の改良			2
	昆虫とくらし	2			
	作物とエネルギー生産	2			
	生きている土壌	2			
	食品栄養系	食品学入門		2	
		食品の安全性		2	
		旬の食材と薬膳		2	
		栄養とスポーツ		2	
		栄養と健康		2	
		病気の予防と食生活		2	
	食農ビジネ ス系	食と農の倫理を学ぶ		2	
		食と農の経済を学ぶ	2		
		食と農の共生を考える	2		
		フードシステムを学ぶ	2		
農業の多様性を学ぶ		2			
食と農の歴史を学ぶ		2			
ゼミ・ 卒業研究	基礎ゼミナール	①			
	応用生物科学研究	①			
	卒業研究	⑥			

区分		授業科目	単位数
教養 科目	共通系	大学教養入門	②
	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語 I	1
		実践英語 II	1
		英語基礎会話 a	1
		英語基礎会話 b	1
		中国語 I	1
		中国語 II	1
		海外語学研修	2
	情報系	情報リテラシー I	①
		情報リテラシー II	1
	体育系	スポーツ科学 I	1
		スポーツ科学 II	1
	人文系	心理学	2
		倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		文化人類学	2
		女性学	2
	社会系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2
		法学入門	2
		経営学入門	2
		観光学	2
		日本国憲法	2

区分		授業科目	単位数
教養 科目	自然系	教養数学	2
		生命倫理	②
		生物と環境	2
		地学	2
		地学実験	2
	キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
		キャリアデザインⅡ	1
		数的能力開発	1
		インターンシップ	2
	外国人留学生対象科目	日本事情 FⅠ	2
		日本事情 FⅡ	2
		日本語読解 FⅠ	1
		日本語読解 FⅡ	1
		日本語文法 FⅠ	1
		日本語文法 FⅡ	1
		日本語表現作文 FⅠ	1
		日本語表現作文 FⅡ	1
		日本語総合 FⅠ	1
		日本語総合 FⅡ	1
		専門日本語 FⅠ	1
		専門日本語 FⅡ	1
		日本語会話 FⅠ	1
		日本語会話 FⅡ	1
		帰国学生対象科目	日本事情 RⅠ
	日本事情 RⅡ		2
	日本語読解 R		1
	日本語文法 R		1
	日本語表現作文 R		1
日本語総合 R	1		
専門日本語 R	1		
日本語会話 R	1		

## 備考

## 1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	45単位	53単位以上 ①専門コア群22単位以上 (基礎系6単位以上、植物系、微生物系および動物・海洋生物系から16単位以上を含む) ②専門総合群20単位以上 (各系から4単位以上を含む) を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	51単位	73単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ハ 食品栄養学科

区分		授業科目	単位数		
専門 科目	共通群	農学概論	②		
		農学基礎演習	①		
		グローバル農業演習	2		
		スマート農業演習	1		
		農業気象学	2		
		森林生態学	2		
		農業知的財産	2		
	専門 コア 群	基礎系	生物学	②	
			生物学演習	1	
			化学	②	
			化学演習	1	
		社会・環境 と健康	公衆衛生学	②	
			健康管理概論	②	
			医療福祉論	2	
		人体の構造 と機能及び 疾病の成り 立ち	解剖生理学	②	
			臨床医学概論	2	
			生化学	②	
			微生物学	②	
			分子生物学	2	
			臨床病態学	2	
			運動生理学	②	
			薬理学	2	
			解剖生理学実習	①	
			生化学実験	①	
			微生物学実験	1	
			食べ物と健 康	食品学総論	②
				食品学各論	②
		食品衛生学		②	
食品加工学	2				
調理学	②				
食品学実験Ⅰ	①				
食品学実験Ⅱ	①				
食品衛生学実験	①				

区分		授業科目	単位数	
専門 科目	専門 コア 群	食べ物と健康	食品加工学実習	1
		調理学実習 I	①	
		調理学実習 II	①	
		調理学実習 III	1	
		基礎栄養学	基礎栄養学	②
		基礎栄養学実習	①	
		応用栄養学	応用栄養学 I	②
		応用栄養学 II	②	
		応用栄養学 III	2	
		応用栄養学実習	①	
		栄養教育論	栄養教育論 I	②
		栄養教育論 II	②	
		栄養教育論 III	2	
		栄養教育論実習	①	
		臨床栄養学	臨床栄養学 I	②
		臨床栄養学 II	2	
		臨床栄養学 III	2	
		臨床栄養学 IV	2	
		栄養薬理学	2	
		臨床栄養学実習 I	①	
		臨床栄養学実習 II	1	
		臨床栄養学実習 III	1	
		公衆栄養学	公衆栄養学 I	②
		公衆栄養学 II	2	
		公衆栄養学実習	①	
		給食経営管理理論	給食経営管理理論 I	②
		給食経営管理理論 II	2	
給食経営管理実習	①			
総合演習	臨地実習指導 (演習)	1		
管理栄養士総合演習	1			

区分		授業科目	単位数	
専門 科目	専門 コア 群	臨地実習	給食運営実習(校外)	①
			臨地実習Ⅰ (給食経営管理論)	1
			臨地実習Ⅱ (公衆栄養学)	1
			臨地実習Ⅲ (臨床栄養学)	2
			臨地実習Ⅳ (臨床栄養学)	3
	専門 総合 群	農業生産系	園芸の技術	2
			植物の病気	2
			植物の改良	2
			昆虫とくらし	2
			作物とエネルギー生産	2
			生きている土壌	2
		応用生物系	分子からみた植物の働き	2
			ゲノムと生命	2
			生物の多様性と進化	2
			動物とくらし	2
			微生物とくらし	2
			海洋生物とくらし	2
		食農ビジネ ス系	食と農の倫理を学ぶ	2
			食と農の経済を学ぶ	2
			食と農の共生を考える	2
			フードシステムを学ぶ	2
			農業の多様性を学ぶ	2
			食と農の歴史を学ぶ	2
		ゼミ・ 卒業研究	基礎ゼミナール	①
	食品栄養学研究		1	
	卒業研究		⑥	
	教養 科目	共通系	大学教養入門	②
語学系		日本語表現法	1	
		基礎英語Ⅰ a	1	
		基礎英語Ⅰ b	1	
		基礎英語Ⅱ a	1	
		基礎英語Ⅱ b	1	
		実践英語Ⅰ	1	
		実践英語Ⅱ	1	



区分		授業科目	単位数
教養 科目	語学系	英語基礎会話 a	1
		英語基礎会話 b	1
		中国語 I	1
		中国語 II	1
		海外語学研修	2
	情報系	情報リテラシー I	①
		情報リテラシー II	1
	体育系	スポーツ科学 I	1
		スポーツ科学 II	1
	人文系	心理学	2
		倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		文化人類学	2
		女性学	2
	社会系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2
		法学入門	2
		経営学入門	2
		観光学	2
		日本国憲法	2
	自然系	教養数学	2
		生命倫理	②
		生物と環境	2
		地学	2
		地学実験	2
	キャリア系	キャリアデザイン I	①
		キャリアデザイン II	1
		数的能力開発	1
インターンシップ		2	

区分		授業科目	単位数	
教養 科目	キャリア系	臨床医療演習	1	
		臨床医療実践演習	1	
		セルフメディケーション演習	1	
	外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2	
		日本事情 F II	2	
		日本語読解 F I	1	
		日本語読解 F II	1	
		日本語文法 F I	1	
		日本語文法 F II	1	
		日本語表現作文 F I	1	
		日本語表現作文 F II	1	
		日本語総合 F I	1	
		日本語総合 F II	1	
		専門日本語 F I	1	
		専門日本語 F II	1	
		日本語会話 F I	1	
		日本語会話 F II	1	
		帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
			日本事情 R II	2
			日本語読解 R	1
	日本語文法 R		1	
	日本語表現作文 R		1	
	日本語総合 R		1	
専門日本語 R	1			
日本語会話 R	1			

## 備考

## 1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	64単位	34単位以上 ①専門コア群12単位以上 ②専門総合群12単位以上 (各系から4単位以上を含む) を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	70単位	54単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ニ 食農ビジネス学科

区分		授業科目	単位数	
専門 科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門 コア 群	基礎系	食農ビジネス学概論	②
			食と農の倫理	②
			基礎経済学	②
			アグロ・エコロジー論	②
			基礎統計学	②
			食と農の近現代史	②
			ミクロ経済学	②
			マクロ経済学	2
			農業簿記・会計学	2
			社会調査論	2
			食農ビジネス最前線	2
			農業経済・ 経営・政策 系	農業経営学
		食料・農業経済学		2
		食料・農業・農村政策論		2
		農業経営管理論		2
		農村社会学		2
		6次産業経営論		2
		地域マネジメント論		2
		食農ビジネス実践論		②
		食品産業・ 流通系	フードシステム論	②
食品産業論	2			
食料・農業市場論	2			
農畜産物流通論	2			
水産物流通論	2			
農水産物マーケティング論	2			

区分		授業科目	単位数	
専門 科目	専門 コア 群	食品産業・ 流通系	食品表示・認証論	2
			女性起業論	2
			食品産業経営戦略論	◇ <sub>2</sub>
		食農共生・ 循環型農業 系	食農共生論	②
			循環型農業論	2
			食農教育論	2
			協同組合論	2
			都市農業論	2
			非営利協同論	2
			有機農業論	2
			農村コミュニティビジネス論	◇ <sub>2</sub>
			国際農業系	比較農業論
		国際農業論		2
		農業開発論		2
		現代韓国農業論		2
	現代中国農業論	2		
	専門 総合 群	農業生産系	園芸の技術	2
			植物の病気	2
			植物の改良	2
			昆虫とくらし	2
作物とエネルギー生産			2	
生きている土壌			2	
応用生物系		分子からみた植物の働き	2	
		ゲノムと生命	2	
		生物の多様性と進化	2	
		動物とくらし	2	
		微生物とくらし	2	
		海洋生物とくらし	2	
食品栄養系		食品学入門	2	
		食品の安全性	2	
		旬の食材と薬膳	2	
	栄養とスポーツ	2		
	栄養と健康	2		
	病気の予防と食生活	2		

区分		授業科目	単位数
専門 科目	ゼミ・ 卒業研究	基礎ゼミナール	①
		食農ビジネス学基礎演習Ⅰ	②
		食農ビジネス学基礎演習Ⅱ	②
		食農ビジネス学基礎演習Ⅲ	②
		食農ビジネス学研究Ⅰ	②
		食農ビジネス学研究Ⅱ	②
		卒業研究	⑥
教養 科目	共通系	大学教養入門	②
	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語Ⅰ a	1
		基礎英語Ⅰ b	1
		基礎英語Ⅱ a	1
		基礎英語Ⅱ b	1
		実践英語Ⅰ	1
		実践英語Ⅱ	1
		英語基礎会話 a	1
		英語基礎会話 b	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		海外語学研修	2
		情報系	情報リテラシーⅠ
	情報リテラシーⅡ		1
	体育系	スポーツ科学Ⅰ	1
		スポーツ科学Ⅱ	1
	人文系	心理学	2
		倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		文化人類学	2
		女性学	2

区分		授業科目	単位数
教養 科目	社会系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2
		法学入門	2
		経営学入門	2
		観光学	2
		日本国憲法	2
	自然系	教養数学	2
		生命倫理	②
		生物と環境	2
		地学	2
		地学実験	2
	キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
		キャリアデザインⅡ	1
		数的能力開発	1
		インターンシップ	2
	外国人留学生対象科目	日本事情 FⅠ	2
		日本事情 FⅡ	2
		日本語読解 FⅠ	1
		日本語読解 FⅡ	1
		日本語文法 FⅠ	1
		日本語文法 FⅡ	1
		日本語表現作文 FⅠ	1
		日本語表現作文 FⅡ	1
		日本語総合 FⅠ	1
		日本語総合 FⅡ	1
		専門日本語 FⅠ	1
		専門日本語 FⅡ	1
		日本語会話 FⅠ	1
		日本語会話 FⅡ	1
		帰国学生対象科目	日本事情 RⅠ
	日本事情 RⅡ		2
日本語読解 R	1		
日本語文法 R	1		

区分		授業科目	単位数
教養 科目	帰国学生対象科目	日本語表現作文 R	1
		日本語総合 R	1
		専門日本語 R	1
		日本語会話 R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	42単位	56単位以上 ①専門コア群26単位以上 (選択必修科目Aから2単位、 選択必修科目B科目から10単位以上を含む) ③専門総合群20単位以上 (各系から4単位以上を含む) を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、 社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	48単位	76単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、◇で囲んだ授業科目は選択必修科目A、□で囲んだ授業科目は選択必修科目B、他は選択科目を示す。



別表第2 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数

授業科目	単位数
職業指導	4
職業指導 I	2
職業指導 II	2
理科教育法 I	2
理科教育法 II	2
理科教育法 III	2
理科教育法 IV	2
工業科教育法 I	2
工業科教育法 II	2
数学科教育法 I	2
数学科教育法 II	2
数学科教育法 III	2
数学科教育法 IV	2
英語科教育法 I	2
英語科教育法 II	2
英語科教育法 III	2
英語科教育法 IV	2
商業科教育法	4
情報科教育法	4
社会科教育法 I (地歴分野)	2
社会科教育法 II (地歴分野)	2
社会科教育法 I (公民分野)	2
社会科教育法 II (公民分野)	2
農業科教育法 I	2
農業科教育法 II	2
学校栄養指導論 I	2
学校栄養指導論 II	2
教育原理	2
教師論	2
教育経営論	2
教育社会学	2
教育心理学	2
特別支援教育論	2

授業科目	単位数
教育課程論	2
道徳教育論	2
特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	2
教育方法論	2
生徒指導論(進路指導を含む)	2
教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	2
教育実習Ⅰ	1
教育実習Ⅱ	2
教育実習Ⅲ	4
栄養教育実習Ⅰ	1
栄養教育実習Ⅱ	1
教職実践演習(中・高)	2
教職実践演習(栄養教諭)	2
地域連携教育活動Ⅰ	2
地域連携教育活動Ⅱ	2

別表第2の2 教育職員免許状の種類および免許教科

1 中学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
社会	経営学部経営学科 法学部法律学科 経済学部経済学科
数学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
理科	理工学部生命科学科 農学部 農業生産学科 応用生物科学科
英語	外国語学部外国語学科
中国語	外国語学部外国語学科

2 高等学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
地理歴史	法学部法律学科 経済学部経済学科
公民	経営学部経営学科 法学部法律学科 経済学部経済学科
数学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
理科	理工学部生命科学科 農学部 農業生産学科 応用生物科学科
情報	経営学部経営情報学科
工業	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
商業	経営学部 経営学科 経営情報学科
農業	農学部農業生産学科
英語	外国語学部外国語学科
中国語	外国語学部外国語学科

3 栄養教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
栄養教諭	農学部食品栄養学科

## 別表第3

## 学費

1 各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

学部		科目・年次	金額					
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
理工学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—	
	授業料	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	—	—	
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—	
外国語学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—	
	授業料	960,000	960,000	960,000	960,000	—	—	
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—	
経営学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—	
	授業料	900,000	900,000	900,000	900,000	—	—	
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—	
薬学部	入学金	450,000	—	—	—	—	—	
	授業料	1,720,000	1,720,000	1,720,000	1,720,000	1,720,000	1,720,000	
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	
法学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—	
	授業料	870,000	870,000	870,000	870,000	—	—	
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—	
経済学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—	
	授業料	900,000	900,000	900,000	900,000	—	—	
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—	
看護学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—	
	授業料	1,510,000	1,510,000	1,510,000	1,510,000	—	—	
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—	

学部		科目・年次	金額					
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
農学部	入学金		250,000	—	—	—	—	—
	授業料							
	農業生産学科		1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	応用生物科学科		1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食品栄養学科		1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食農ビジネス学科		1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	—	—
	教育充実費							
	農業生産学科		100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	応用生物科学科		100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	食品栄養学科		130,000	230,000	230,000	230,000	—	—
食農ビジネス学科		50,000	150,000	150,000	150,000	—	—	

2 履修に特別の経費を要する場合は、これを当該課程の履修者から徴収することがある。その場合の金額および納期は、別に定める。

3 学費の額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

#### 別表第4

##### 研究料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	410,000	年額
外国語学部	310,000	〃
経営学部	315,000	〃
薬学部	660,000	〃
法学部	315,000	〃
経済学部	315,000	〃
看護学部	550,000	〃
農学部	410,000	〃

## 別表第5

## 履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	20,000	1単位あたり
外国語学部	15,000	
経営学部		
薬学部	25,000	
法学部	15,000	
経済学部		
看護学部	25,000	
農学部	20,000	

## 別表第6

## 在籍料

(単位：円)

学部	前期	後期
理工学部	60,000	60,000
外国語学部		
経営学部		
薬学部		
法学部		
経済学部		
看護学部		
農学部		

## 摂南大学農学部教授会規定（案）

（趣旨）

第1条 この規定は、摂南大学学則(以下「学則」という)第7条および組織規定第72条第1項に定める摂南大学農学部教授会(以下「教授会」という)について、必要な事項を定める。

（教授会の組織）

第2条 教授会は、つぎの者をもって組織する。

イ 農学部長(以下「学部長」という)

ロ 農学部教授(専任に準じる職務を行う特任教授を含む)

2 学部長は、教授会の議を経て、農学部の設置学科から准教授各1名を教授会に加えることができる。

3 前項に定める准教授の任期は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

（審議事項）

第3条 教授会は、農学部の教育研究上のつぎの事項を審議する。

イ 学則および重要な教学にかかる規定に関すること

ロ 学生の入学、卒業および学位の授与に関すること

ハ 単位の認定に関すること

ニ 学生の転学部・転学科に関すること

ホ 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生の入学に関すること

ヘ 授業時間割の編成および授業計画、その他大学および学部の教育方針に関すること

ト 教員の留学に関すること

チ 名誉教授の称号授与等に関すること

リ 学長または学部長が諮問した事項に関すること

ヌ その他農学部の教育研究に関すること

（報告事項）

第4条 学部長は、教授会に組織規定第72条第1項に定める部長会議および各委員会で審議された、農学部に関する事項を報告するものとする。

（招集および議長）

第5条 教授会は、学部長が招集し議長となる。

2 学部長に事故があるときまたは欠けたときは、あらかじめ学部長が指名した教授が議長となり、議長の職務を行う。

3 第2条に定める教授会組織員(以下「組織員」という)の3分の1以上の者から、議題を示して

請求があれば、学部長は、その招集を決定しなければならない。

(定足数および表決)

第 6 条 教授会は、組織員の 3 分の 2 以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

2 教授会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(員数除外)

第 7 条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、前条第 1 項の員数から除外する。

イ 休職者

ロ 海外出張者

ハ 長期欠勤などのために引き続き 1 カ月以上教授会に出席できない者

(議題の事前提出)

第 8 条 教授会に議題を提出しようとする者は、あらかじめその要領を文書で学部長に提出しなければならない。

2 学部長は、教授会の議に付すべき事項を、主管部署の審議を経たうえで速やかに教授会に提出する。ただし、大学全体の運営に影響を及ぼす事項については、あらかじめ学部長は、学長と協議するものとする。

3 教授会の席上、緊急に提案された議題は、即決することができない。ただし、軽易なものおよび出席者の全員が承認したものについては、この限りでない。

(議事録の調製および呈示)

第 9 条 議長は、学部事務室長に会議の次第および出席者の氏名等を記載した議事録を調製させなければならない。

2 議事録には、議長および議長が指名した組織員 2 名が署名しなければならない。

3 議事録は、学部事務室で保管し、組織員の請求があるときは、これを呈示しなければならない。

(関係職員の出席)

第 10 条 議長は、必要があると認めたとき、組織員以外の職員を教授会に出席させ、議事に関し、これに説明をさせまたは意見を述べさせることができる。ただし、表決に加えることはできない。

(欠席届および議事録による了知)

第 11 条 教授会に欠席する者は、欠席届をあらかじめ学部事務室を経て学部長に提出しておかななければならない。

2 教授会に欠席した者は、その経緯を議事録によって了知するものとする。



(教授会の庶務)

第 12 条 教授会の庶務は、学部事務室で取り扱う。

(運営細則)

第 13 条 この規定に定めるもののほか、教授会の運営に関し必要な事項は、教授会の議を経て学部長が定める。

(規定の改廃)

第 14 条 この規定の改廃は、学長ならびに部長会議および教授会の意見を聴き、理事長が行う。

付 則

1 この規定は、2020 年 4 月 1 日から施行する。